

現場 DE カメラ 土木版

取扱説明書



目次

1. はじめに	1
2. 黒板の準備	1
2.1. 黒板リスト画面	1
2.2. 黒板リストの並び替え	3
2.3. 黒板リストの絞り込み検索	5
2.3.1. 階層検索で絞り込む	6
2.3.2. キーワード検索で絞り込む	7
2.4. 黒板の新規作成	9
2.5. 黒板データの取り込み	10
2.5.1. Wi-Fi 転送を利用して黒板データを取り込む	10
2.5.2. iTunes を利用して黒板データを取り込む	15
2.5.3. ネットワークを利用して黒板データを取り込む	18
2.6. 黒板の編集方法	22
2.6.1. 黒板リストから階層情報・写真情報を編集する	22
2.6.2. 撮影画面から階層情報・写真情報を編集する	23
2.6.3. レイアウト調整	25
2.6.4. 画像の貼り付け	27
2.6.5. 黒板色設定	29
2.6.6. 撮影日時の表示設定	30
2.6.6.1. 黒板確認画面で表示設定	30
2.6.6.2. 項目編集画面で表示設定	30
2.6.6.3. 黒板リスト画面で表示設定	31
2.6.7. 黒板編集後の保存	32

2.7.	黒板の削除	32
3.	撮影について	36
3.1.	画面構成	36
3.2.	黒板表示ありの写真撮影	38
3.3.	レイヤ化された写真の保存	41
4.	撮影写真について.....	42
4.1.	写真の一覧表示	42
4.2.	写真一覧の絞り込み表示	43
4.3.	写真の転送及び外部出力について	45
4.3.1.	Wi-Fi を利用して転送する	45
4.3.2.	ネットワークを利用して転送する	46
4.3.3.	メール送信を利用して転送する	49
4.3.4.	カメラロールに出力する	52
4.4.	写真の削除	55
4.5.	レイヤ化された写真のレイヤ表示/非表示.....	58
5.	手描き入力について.....	59
5.1.	お絵描き画面を表示する	59
5.1.1.	黒板のお絵描き画面	59
5.1.2.	写真のお絵描き画面	61
5.1.2.1.	プレビュー画面からお絵かき画面を表示.....	61
5.1.2.2.	写真画面からお絵かき画面を表示	63
5.2.	お絵描きツールの種類.....	64
5.3.	サブメニュー	69
5.4.	図形を操作する	71
5.4.1.	図形を選択する	71
5.4.2.	図形を複数選択する	72

5.4.3.	図形を移動する	73
5.4.4.	図形を変形する	74
5.4.5.	図形を回転する	75
5.4.6.	図形のグループ化・グループ解除	76
5.5.	グリッド・スナップ設定	77
5.6.	色を選択する	78
5.7.	線の太さを選択する	79
5.8.	線の種類を選択する	79
5.9.	図形の切り取り、コピー、貼り付け	80
5.9.1.	図形の切り取り、貼り付け	80
5.9.2.	図形のコピー、貼り付け	81
5.9.3.	選択して貼り付け	82
5.9.3.1.	コピー履歴の削除	83
5.10.	図形を塗り潰す	85
5.11.	テキストを編集する	86
6.	ファイル App からのアクセスについて	87
7.	各種設定について	89
7.1.	撮影設定	90
7.1.1.	撮影解像度	90
7.1.2.	位置情報	90
7.1.3.	改ざん検知情報	91
7.1.4.	撮影日付の形式	91
7.1.5.	撮影時刻の 24 時間表記	92
7.1.6.	黒板なしの写真を同時保存する	92
7.1.7.	レイヤ化された写真を同時保存する	93
7.1.8.	黒板不透明度	93

7.2.	黒板設定	94
7.2.1.	施工者を表示	94
7.2.2.	撮影日時の表示設定	94
7.3.	オンラインストレージ	95
8.	トラブルシューティング	98
8.1.	Wi-Fi サーバーが起動できない	98
8.1.1.	メッセージの確認	98
8.1.2.	ネットワーク環境調査用の情報を出力	98
8.1.2.1.	ネットワーク環境調査用の情報出力	99
8.1.2.2.	「メール」アプリを用いたネットワーク環境調査用の情報の送信	100
8.1.2.3.	ネットワーク環境調査用の情報を iTunes から PC に取り込み、PC から送信	101

1. はじめに

現場 DE カメラ 土木版（以降「本アプリ」と記載します）は、「黒板の電子化」「デジタル工事写真の信頼性確認（改ざん検知機能）」に対応した iOS 端末上で使える写真撮影アプリです。

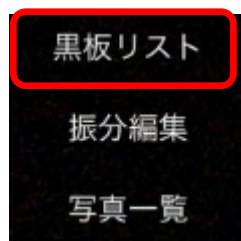
本書では iPad での操作を基準に説明いたします。

2. 黒板の準備

黒板表示ありの写真を撮影する場合、事前に黒板を準備する必要があります。





2.1. 黒板リスト画面

黒板の選択や新規作成・編集・削除をする場合は、撮影画面左上の「黒板リスト」をタップします。




「黒板リスト」画面が表示されます。



No.	名称	内容
①	撮影	撮影画面に戻ります。
②		黒板リストを並べ替えます。
③		黒板リストを絞り込み検索します。
④		黒板を新規作成します。
⑤		「Wi-Fi サーバー」「ダウンロード」「各種設定」などの設定メニューを開きます。
⑥	黒板サムネイル	作成済みの黒板が表示されます。
⑦	階層情報・写真情報	黒板に設定した情報が表示されます。
⑧	編集	黒板の編集や削除のメニューを表示します。

2.2. 黒板リストの並び替え



「黒板リスト」画面右上の  をタップします。



並び替え基準と「昇順/降順」を選択して並び替えをします。

デフォルトは「黒板の追加順」の「降順」となっています。

並び替え基準	説明
黒板の追加順	<p>本アプリに黒板を追加した順番で並び替えをします。</p> <p>「降順」にすると画面左から順に新しい黒板が配置されます。</p>
写真未撮影	<p>写真未撮影の黒板を基準に並び替えをします。</p> <p>「降順」にすると画面左から順に写真未撮影の黒板が配置されます。</p> <p>※写真未撮影同士、撮影済み同士内では「黒板の追加順の降順」で黒板が配置されます。</p>
写真-大分類	<p>写真情報の「写真-大分類」に登録されているテキストを基準に並び替えをします。</p>

並び替え基準	説明
写真区分	写真情報の「写真区分」に登録されているテキストを基準に並び替えをします。
撮影箇所	写真情報の「撮影箇所」に登録されているテキストを基準に並び替えをします。
工種	階層情報の「工種」に登録されているテキストを基準に並び替えをします。
種別	階層情報の「種別」に登録されているテキストを基準に並び替えをします。
細別	階層情報の「細別」に登録されているテキストを基準に並び替えをします。
工種区分予備 1	階層情報の「工種区分予備 1」に登録されているテキストを基準に並び替えをします。
工種区分予備 2	階層情報の「工種区分予備 2」に登録されているテキストを基準に並び替えをします。
工種区分予備 3	階層情報の「工種区分予備 3」に登録されているテキストを基準に並び替えをします。

2.3. 黒板リストの絞り込み検索



「黒板リスト」画面の右上の  をタップします。



「共通設定」や「絞り込み条件」の設定内容で絞り込みをします。

絞り込みを解除したい場合は「絞り込み解除」ボタンをタップします。

No.	項目名		説明
①	表示する黒板の種類	写真未撮影の黒板	写真未撮影の黒板のみを表示します。
		写真撮影済みの黒板	写真撮影済みの黒板のみを表示します。
		全ての黒板	写真未撮影、撮影済みの全ての黒板を表示します。
②	絞り込み方法	階層検索	登録されている階層情報を選択し、それに一致する黒板を表示します。
		キーワード検索	テキスト入力、検索条件等を指定し、それに一致する黒板を表示します。

2.3.1.階層検索で絞り込む

絞り込み方法を「階層検索」に設定します。



「工事名」をタップすると工事名に登録されているテキストの一覧が表示されるので絞り込みたいものを選択します。

選択すると工事名が一致する黒板のみが表示されます。

「(全ての工事)」にすると工事名を指定せずに絞り込みをすることができます。



「工種」「種別」「細別」「工種区分予備1」「工種区分予備2」「工種区分予備3」も同様に設定することができます。



「リセット」ボタンをタップするとその階層以下を全てリセットします。

2.3.2.キーワード検索で絞り込む

絞り込み方法を「キーワード検索」に設定します。



絞り込みたい項目名のテキスト入力欄にテキストを入力し、検索条件を設定して絞り込みをします。



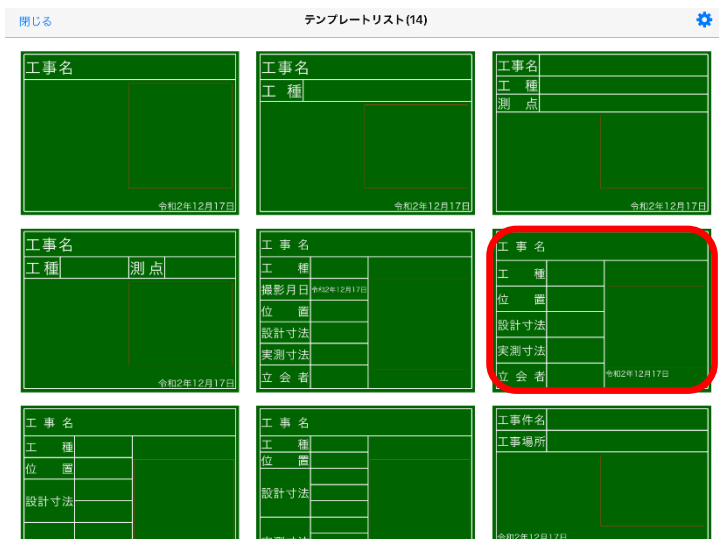
No.	項目名	説明
①	参照	該当項目に登録されているテキストの一覧が表示され、選択したテキストがテキスト入力欄に貼り付けられます。
②	テキスト入力欄	キーボードで自由にテキストを入力できます。 入力したテキストと検索条件の組み合わせによって表示される黒板が決定します。

No.	項目名		説明
③	検索条件	を含む	<p>該当項目がテキスト入力欄に入力されているテキストを含む黒板を表示します。</p> <p>テキスト入力欄が空の場合は、全ての黒板に当てはまります。</p>
		を含まない	<p>該当項目がテキスト入力欄に入力されているテキストを含まない黒板を表示します。</p> <p>テキスト入力欄が空の場合は、該当項目が空以外の黒板に当てはまります。</p>
		と一致する	<p>該当項目がテキスト入力欄に入力されているテキストと一致する黒板を表示します。</p> <p>テキスト入力欄が空の場合は、該当項目が空の黒板に当てはまります。</p>
		と一致しない	<p>該当項目がテキスト入力欄に入力されているテキストと一致しない黒板を表示します。</p> <p>テキスト入力欄が空の場合は、該当項目が空以外の黒板に当てはまります。</p>
		で始まる	<p>該当項目がテキスト入力欄に入力されているテキストで始まる黒板を表示します。</p> <p>テキスト入力欄が空の場合は、全ての黒板に当てはまります。</p>
		で終わる	<p>該当項目がテキスト入力欄に入力されているテキストで終わる黒板を表示します。</p> <p>テキスト入力欄が空の場合は、全ての黒板に当てはまります。</p>

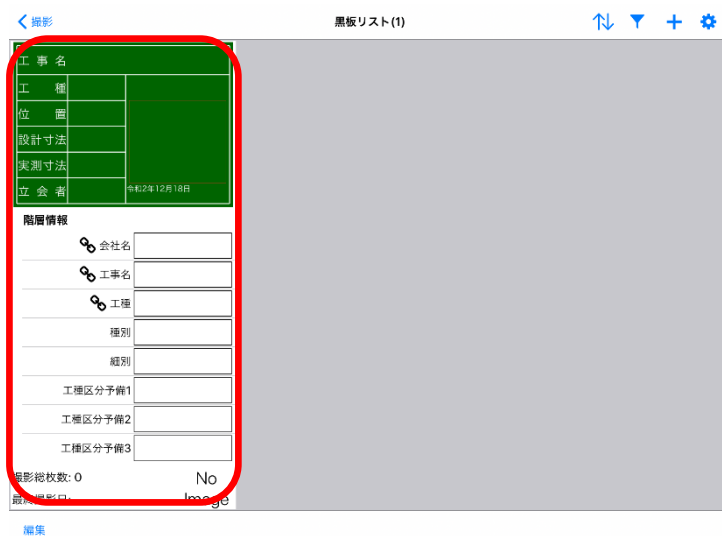
2.4. 黒板の新規作成



「黒板リスト」画面で右上の **+** をタップします。



「テンプレートリスト」が表示されますので、任意の黒板テンプレートをタップします。



黒板リストの左端に新規作成した黒板が表示されます。

内容が未設定状態で作成されますので、随時黒板の内容を編集してください。

黒板の内容を編集する方法については「2.6 黒板の編集方法」を参照してください。

2.5. 黒板データの取り込み

本アプリは弊社製品「現場編集長 CALSMaster（Ver.18 以降）」の「黒板作成ツール」で作成した黒板データを取り込むことができます。

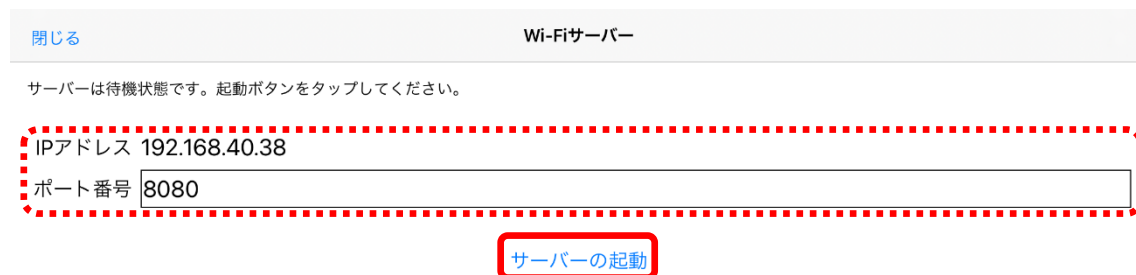
ここでは「現場編集長 CALSMaster」で作成した黒板データを端末へ取り込む方法について記載します。

2.5.1. Wi-Fi 転送を利用して黒板データを取り込む

「黒板リスト」画面の右上の「設定」ボタン  をタップし、「Wi-Fi サーバー」を起動します。



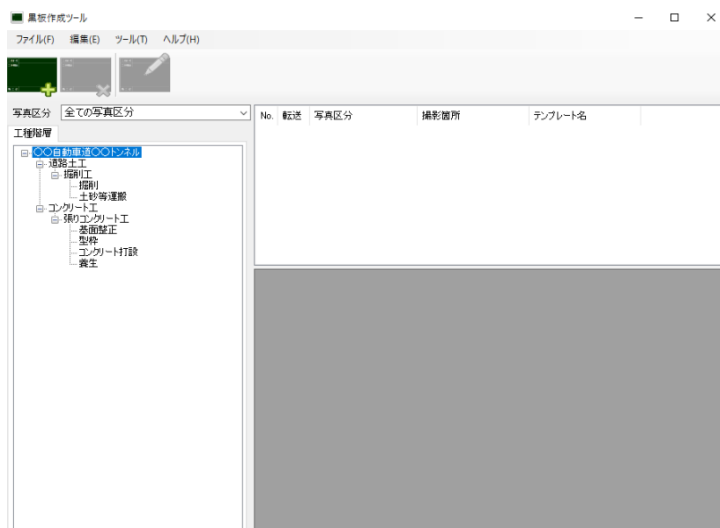
「Wi-Fi サーバー」をタップすると、端末に割り当てられている IP アドレスと、本アプリで設定しているポート番号が表示されます。「サーバーの起動」をタップします。



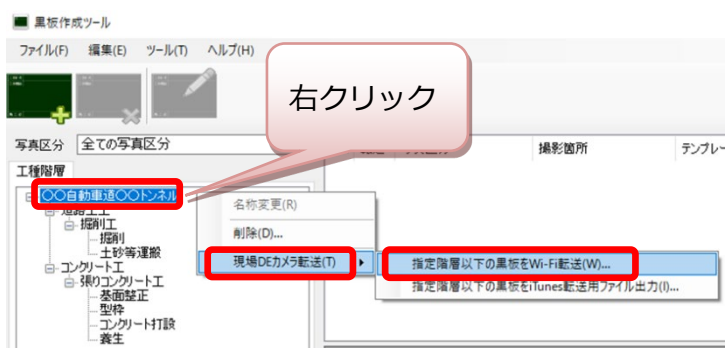
「サーバーは正常に起動しました。」と表示されれば完了です。

端末は一旦そのままの状態にしておき、お使いの PC で「現場編集長 CALSMaster」を起動してください。

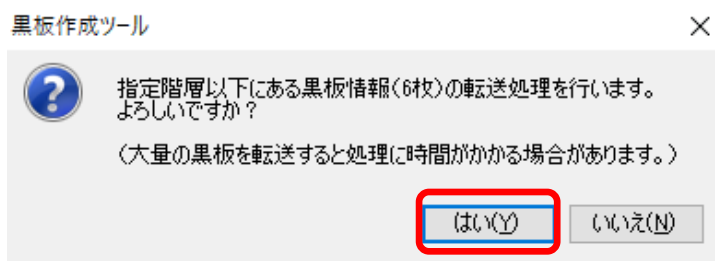




「現場編集長 CALSMaster」から「黒板作成ツール」を起動します。



転送したい黒板の階層上で右クリックしてメニューを開き、「現場 DE カメラ転送(T)」―「指定階層以下の黒板を Wi-Fi 転送(W)」を選択してください。



転送確認メッセージが表示されます。

「はい(Y)」ボタンをクリックします。

「黒板の Wi-Fi 転送」画面が開きます。

現場DEカメラ 土木版の準備

以下の手順に従って「現場DEカメラ 土木版」を操作してください。

1. 画面右上の設定(歯車)ボタンからWi-Fiサーバーをタップします。
2. 「サーバー起動」ボタンをタップします。

操作が完了したら、IPアドレス、ポート番号を確認の上、転送ボタンをクリックしてください。

接続設定(C)

IPアドレス

ポート番号

「黒板の Wi-Fi 転送」画面の IP アドレス、ポート番号に、本アプリの「Wi-Fi サーバー」画面に表示されている IP アドレス及びポート番号を入力してください。

現場DEカメラ 土木版の準備

以下の手順に従って「現場DEカメラ 土木版」を操作してください。

1. 画面右上の設定(歯車)ボタンからWi-Fiサーバーをタップします。
2. 「サーバー起動」ボタンをタップします。

操作が完了したら、IPアドレス、ポート番号を確認の上、転送ボタンをクリックしてください。

接続設定(C)

IPアドレス

ポート番号

IP アドレス及びポート番号の入力が完了したら「転送(T)」ボタンをクリックしてください。

現場DEカメラ 土木版の準備

以下の手順に従って「現場DEカメラ 土木版」を操作してください。

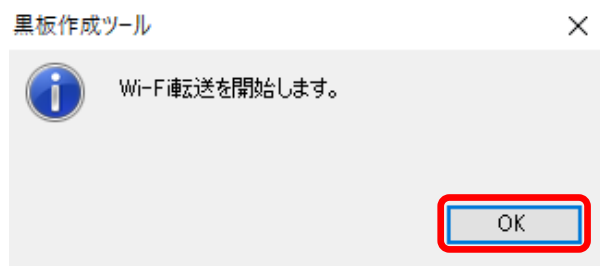
1. 画面右上の設定(歯車)ボタンからWi-Fiサーバーをタップします。
2. 「サーバー起動」ボタンをタップします。

操作が完了したら、IPアドレス、ポート番号を確認の上、転送ボタンをクリックしてください。

接続設定(C)

IPアドレス

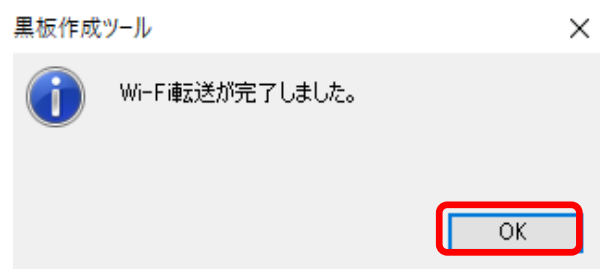
ポート番号



メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。



Wi-Fi 転送が開始されますので、完了するまでお待ちください。



完了メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。

次に、端末に戻り Wi-Fi サーバーを終了させます。

本アプリの「Wi-Fi サーバー」画面を開き「サーバーの終了」ボタンをタップします。

サーバーを停止させたら「閉じる」ボタンをタップしてください。

閉じる

Wi-Fiサーバー

サーバーは正常に起動しました。

IPアドレス 192.168.40.38

ポート番号 8080

サーバーの終了

閉じる

Wi-Fiサーバー

サーバーは待機状態です。起動ボタンをタップしてください。

IPアドレス 192.168.40.38

ポート番号 8080

サーバーの起動

転送した黒板が黒板リストに表示されます。

撮影

黒板リスト(90)

↑ ↓ + ⚙

工事名〇〇土木工事

令和2年12月18日

階層情報

会社名

工事名 〇〇土木工事

工種 床止め工

種別 既製杭工

細別 整地

工種区分予備1

工種区分予備2

工種区分予備3

撮影総枚数: 0

No

最終撮影日: Image

工事名〇〇土木工事

令和2年12月18日

階層情報

会社名

工事名 〇〇土木工事

工種 床止め工

種別 既製杭工

細別 人力積込

工種区分予備1

工種区分予備2

工種区分予備3

撮影総枚数: 0

No

最終撮影日: Image

工事名〇〇土木工事

令和2年12月18日

階層情報

会社名

工事名 〇〇土木工事

工種 床止め工

種別 既製杭工

細別 積込(ルーズ)

工種区分予備1

工種区分予備2

工種区分予備3

撮影総枚数: 0

No

最終撮影日: Image

工事

階層情報

会社名

工事名

工種

種別

細別

工種区分予備1

工種区分予備2

工種区分予備3

撮影総枚数: 0

No

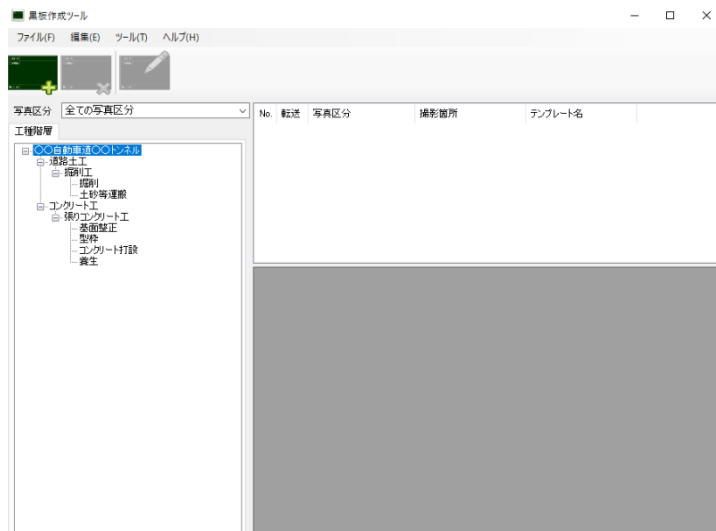
最終撮影日: Image

編集

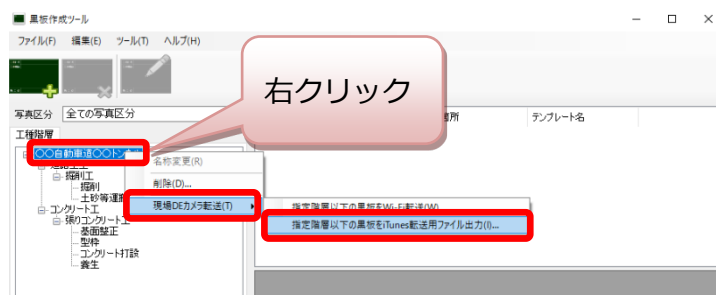
以上で Wi-Fi 転送を利用した黒板データの取り込みは終了です。

2.5.2.iTunes を利用して黒板データを取り込む

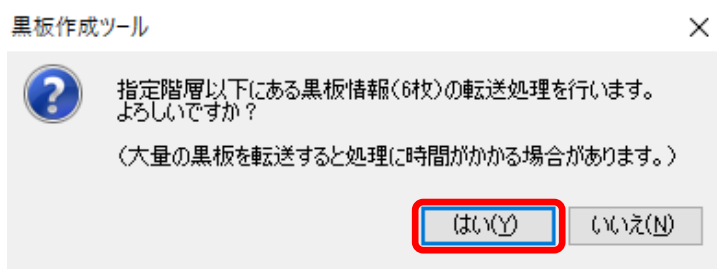
【注意】 iTunes を利用して黒板データを取り込む場合は、事前にお使いの PC に iTunes をインストールする必要があります。



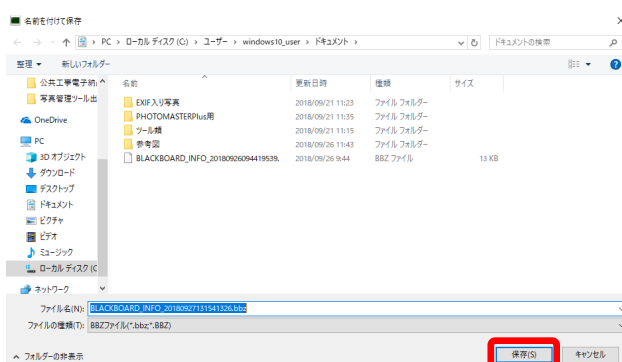
「現場編集長 CALSMaster」から「黒板作成ツール」を起動します。



転送したい階層上で右クリックしてメニューを開き、「現場 DE カメラ転送(T)」→「指定階層以下の黒板を iTunes 転送用ファイル出力(I)」をクリックします。



転送確認メッセージが表示されますので「はい(Y)」ボタンをクリックしてください。



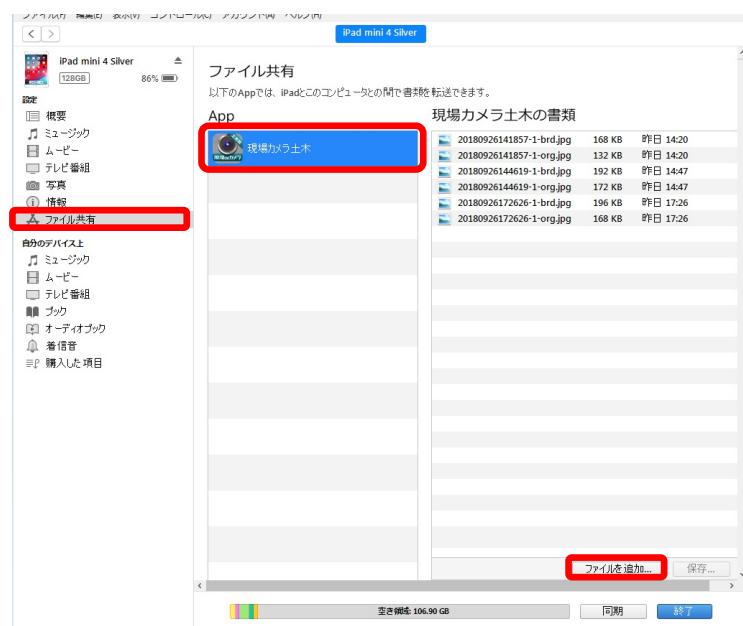
「名前をつけて保存」ダイアログが表示されます。任意の場所を指定して「保存(S)」ボタンをクリックします。



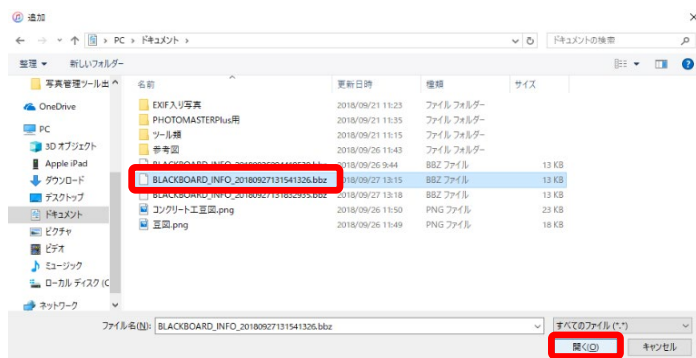
お使いの端末を PC と接続して iTunes を起動します。



をクリックします。



画面左で「ファイル共有」を選択し、表示された「現場カメラ土木」を選択した後、「ファイルを追加」ボタンをクリックします。

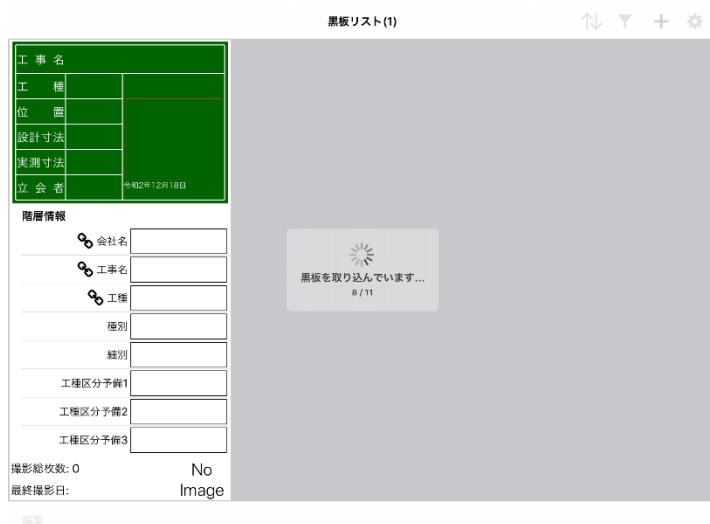


「追加」ダイアログが表示されます。黒板作成ツールで出力したファイルを選択し「開く(O)」ボタンをクリックします。



本アプリを起動し黒板リストを開くと、取り込み確認メッセージが表示されますので「取り込む」ボタンをタップします。

(キャンセルを選択した場合は、黒板リストを開き直した時に再び確認画面が表示されます。)



取り込みが完了するまで少々お待ちください。

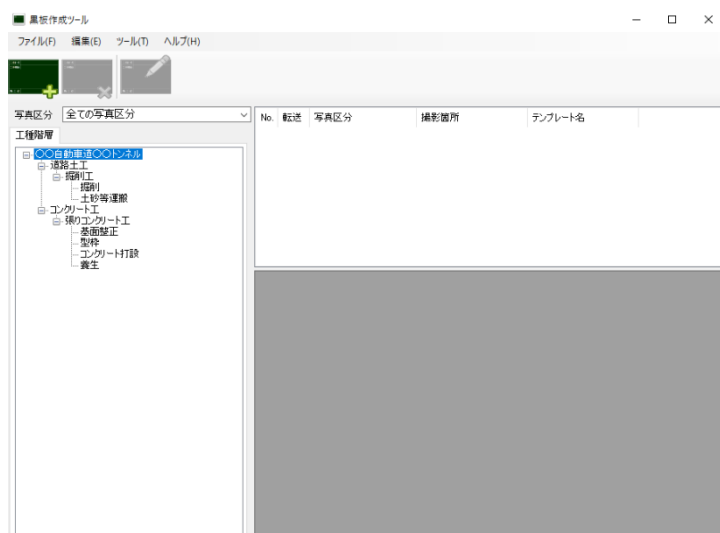


取り込みが完了すると、ファイル転送した黒板が黒板リストに表示されます。

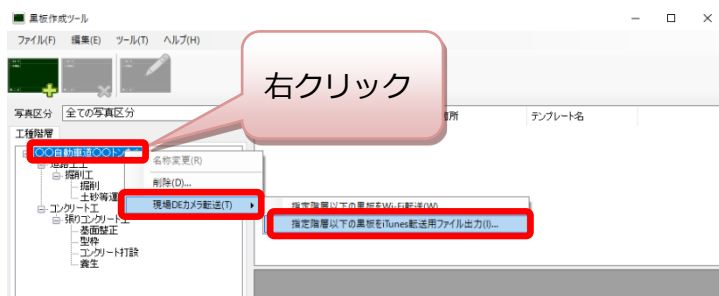
以上で iTunes を利用した黒板データの取り込みは終了です。

2.5.3.ネットワークを利用して黒板データを取り込む

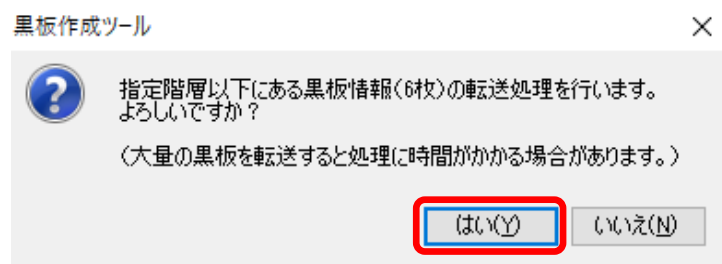
【注意】ネットワークを利用して黒板データを取り込む場合は、事前にお客様各位にてオンラインストレージサービスをご用意していただく必要があります。本アプリで対応しているオンラインストレージは Dropbox、Box、WebDAV、RICOH Drive の4種類です。



「現場編集長 CALSMaster」から「黒板作成ツール」を起動します。

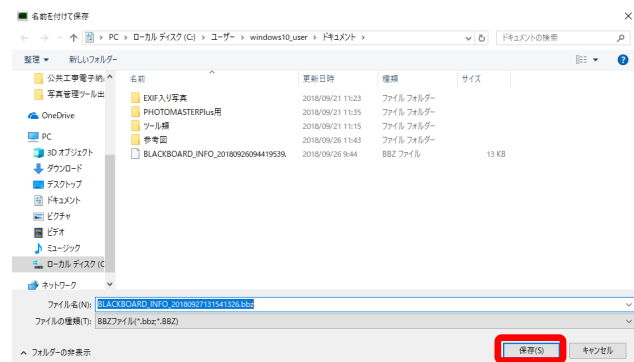


転送したい黒板の階層上で右クリックしてメニューを開き、「現場 DE カメラ転送 (T)」―「指定階層以下の黒板を iTunes 転送用ファイル出力 (I)」をクリックします。



転送確認メッセージが表示されます。


「はい(Y)」ボタンをクリックします。



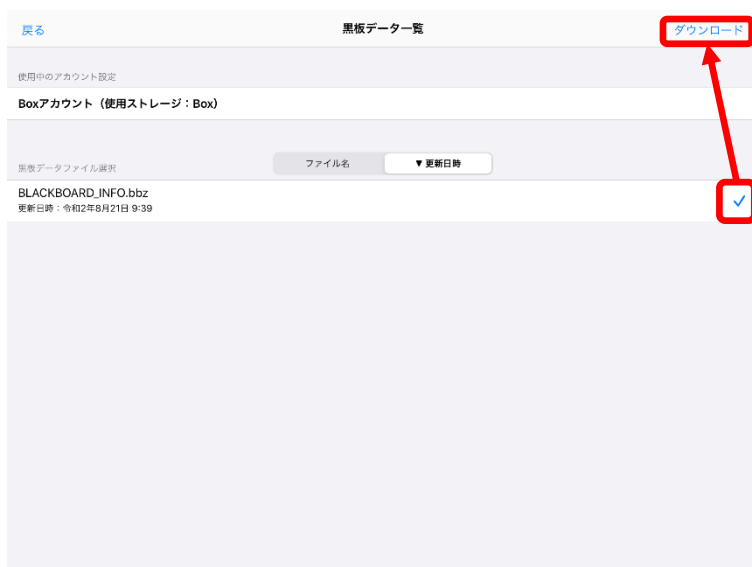
「名前をつけて保存」ダイアログが表示されますので、任意の場所を指定して「保存 (S)」ボタンをクリックします。

出力したファイルを任意のオンラインストレージにアップしてください。



本アプリの画面右上の「設定」ボタン  をタップし、「ダウンロード」をタップしてください。

【注意】黒板リスト以外の画面から「設定」ボタンをタップした場合は「ダウンロード」は表示されません。黒板リストから呼び出しをお願いします。



設定されているオンラインストレージの画面が表示されます。

(オンラインストレージの設定は「7.3」参照)

取り込みたいファイルをタップしてチェックが付いた状態にして、「ダウンロード」をタップします。



確認メッセージで「ダウンロード」をタップしてください。



ダウンロードが開始されます。



ダウンロードが完了すると「黒板リスト」画面に戻ります。

以上でネットワークを利用した黒板データの取り込みは終了です。

2.6. 黒板の編集方法

2.6.1. 黒板リストから階層情報・写真情報を編集する



「黒板リスト」画面で赤枠部分をタップすると「振分編集」画面へ遷移します。

振分編集

階層情報 ①

会社名	
工事名	〇〇土木工事
工種	河川土工
種別	掘削工
細別	人力積込
工種区分予備1	
工種区分予備2	
工種区分予備3	

写真情報 ②

写真タイトル	
写真・大分類	> 工事
写真区分	>
撮影箇所	
施工管理値_設計1	

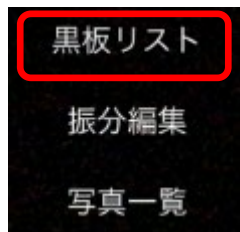
キャンセル 新規保存 上書き保存

「振分編集」画面で「階層情報」及び「写真情報」を設定することができます。

- ① 「階層情報」を入力します。ここで「工種」「種別」「細別」を入力すると、写真管理ツールで写真を取り込む時に自動振分されます。
- ② 「写真情報」を入力します。ここで写真情報を事前に入力しておくことで、写真管理ツール上で写真情報を入力する手間が無くなります。

2.6.2. 撮影画面から階層情報・写真情報を編集する

写真撮影画面から「振分編集」を選択した場合は、現在表示されている黑板に対して「階層情報」及び「写真情報」の編集ができます。



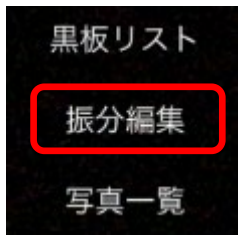
写真撮影画面で「黑板リスト」を選択します。



黑板リスト上の黑板部分をタップします。



黑板が表示されたら「撮影」ボタンをタップします。



写真撮影画面に戻ったら「振分編集」を選択します。

◆「スナップ」モードが ON の場合

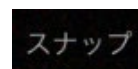
振分編集	
階層情報	
会社名	
工事名	
工種	
種別	
組別	
工種区分予備1	
工種区分予備2	
工種区分予備3	
写真情報	
写真タイトル	
写真-大分類	>
写真区分	>
撮影箇所	
施工管理値_設計1	
キャンセル	上書き保存



黒板を使用しない写真（以降「スナップ写真」と表記します。）となります。スナップ写真を「写真管理ツール」で取り込んだ時に同時に任意の写真箱へ自動振分したい場合は、このモードで「階層情報」及び「写真情報」を入力してください。

◆「スナップ」モードが OFF の場合

振分編集	
階層情報	
会社名	
工事名	〇〇自動車道〇〇トンネル
工種	コンクリート工
種別	張りコンクリート工
組別	養生
工種区分予備1	
工種区分予備2	
工種区分予備3	
写真情報	
写真タイトル	
写真-大分類	>
写真区分	>
撮影箇所	
施工管理値_設計1	
キャンセル	新規保存 上書き保存



撮影画面で現在表示されている黒板に対しての振分情報の編集ができます。

2.6.3.レイアウト調整

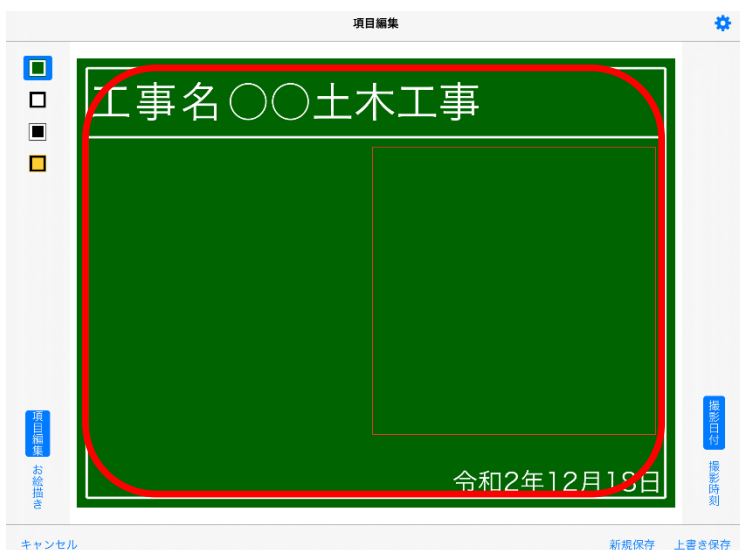
黒板に表示される文字の大きさや位置を調整することができます。



黒板リスト上の黒板部分をタップします。



「黒板確認」画面が表示されたら黒板部分をタップします。



「項目編集」画面が表示されたら項目部分をタップします。



キーボードが表示されます。

ここで各項目を編集することができます。



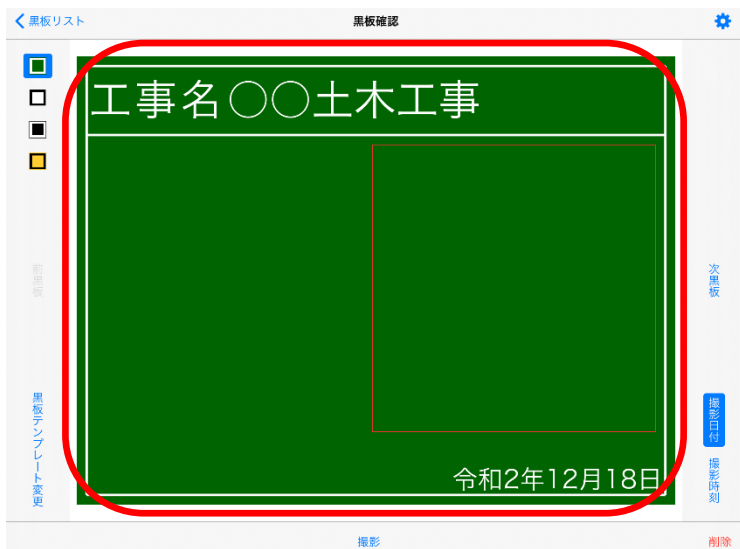
キーボードの上に表示されている「レイアウト」ボタンをタップすると、「文字配置」と「文字サイズ」が調整できます。

2.6.4.画像の貼り付け

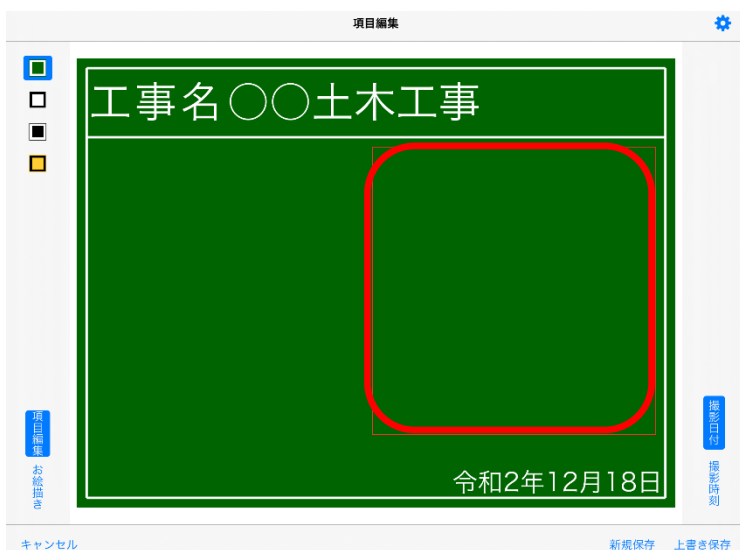
事前に端末内(カメラロール)に保存された画像を黒板に貼り付けることができます。



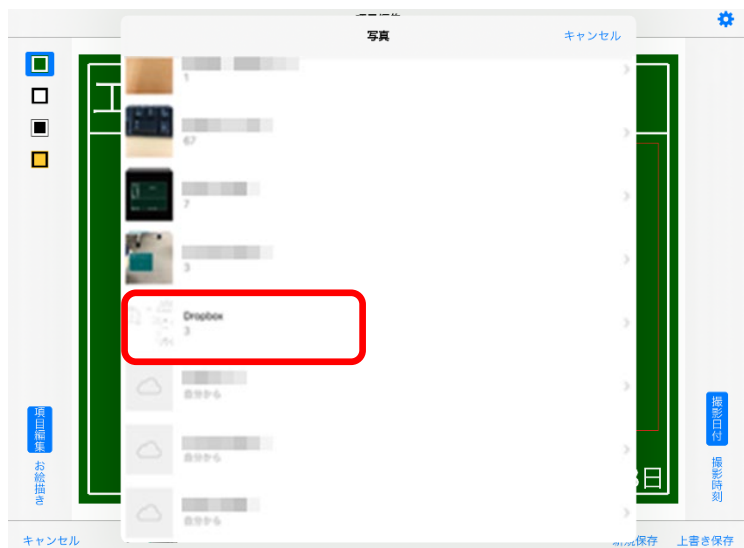
黒板リスト上の黒板部分をタップします。



「黒板確認」画面が表示されたら黒板部分をタップします。

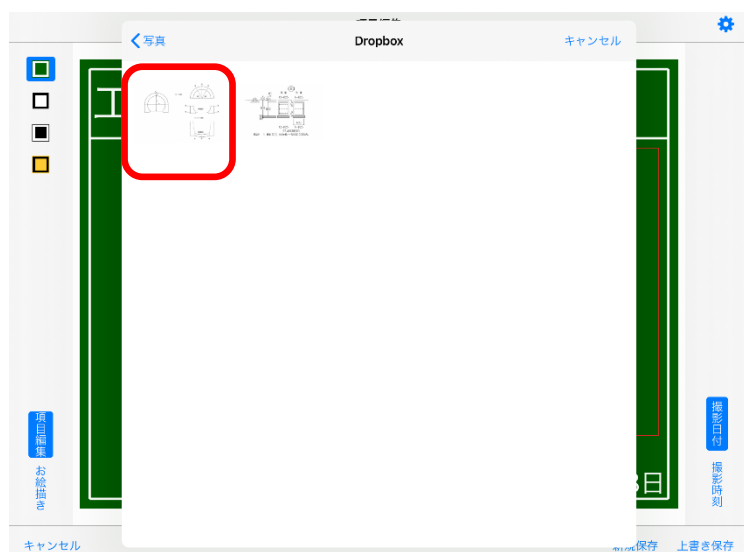


「項目編集」画面が表示されたら赤枠部分をタップします。

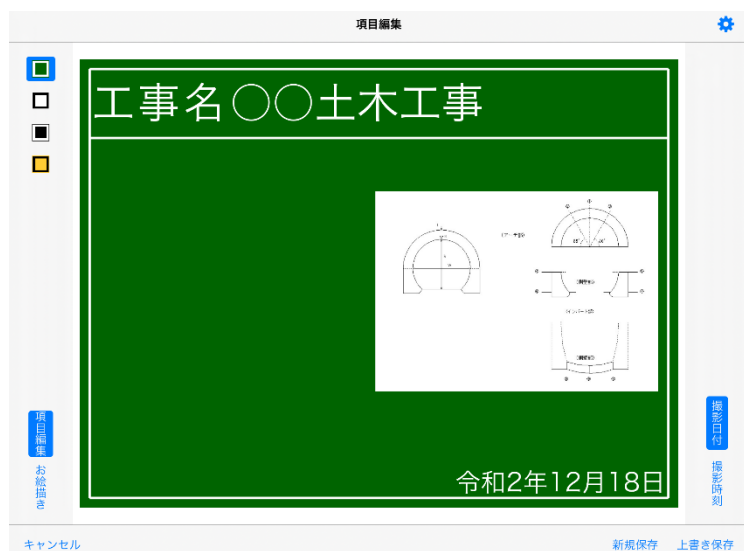


端末内の写真フォルダから、黒板に貼り付ける画像を選択します。

※画像は事前に端末内(カメラロール)に画像ファイルを用意した状態です。



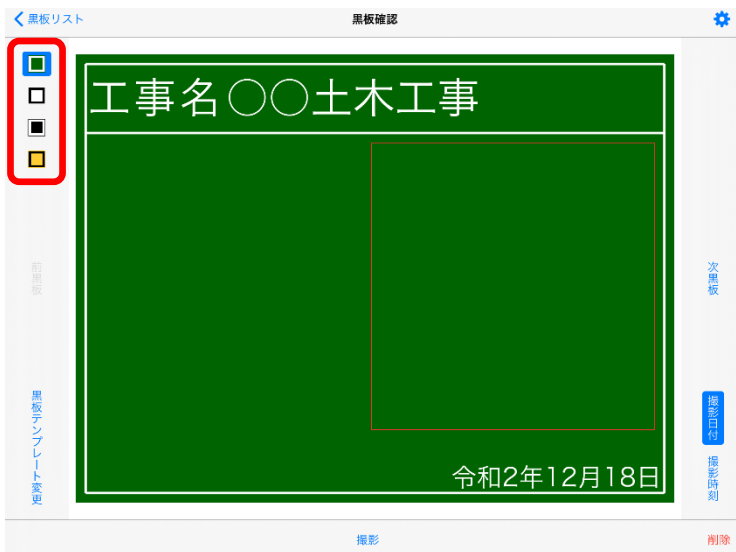
貼り付ける画像をタップします。



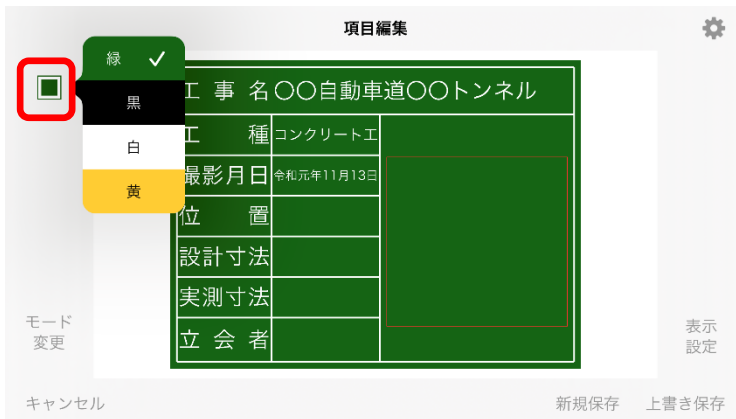
選択した画像が黒板に表示されます。

画像を差し替える時も同じ様に操作してください。

2.6.5.黒板色設定



黒板の全体表示画面左上で黒板の色を変更させることができます。（全4色）



撮影画面からでも黒板色の変更が可能です。

（スナップ写真撮影時には黒板が表示されず、色の変更も行えません。）



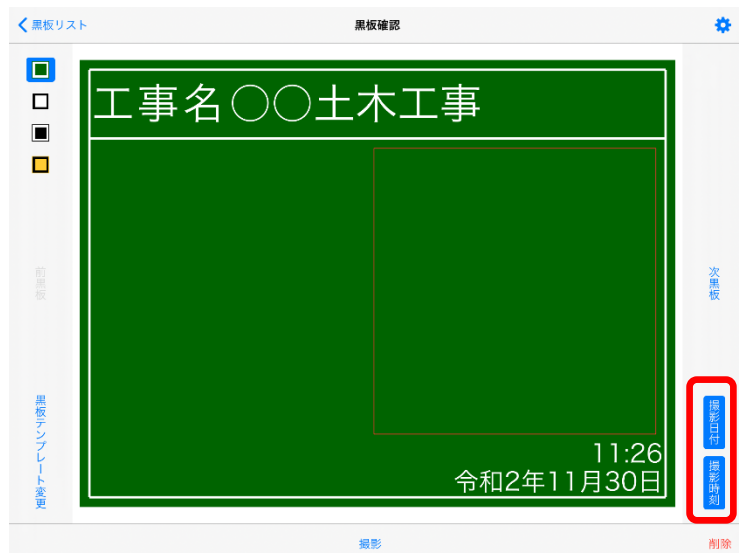
2.6.6. 撮影日時の表示設定

黒板に撮影日付と撮影日時の表示/非表示を設定することができます。

以下は各種設定画面で「撮影日時の表示設定」を「各黒板の設定に従う」に設定した場合の説明です。

各種設定画面については「[7.2.2. 撮影日時の表示設定](#)」を参照してください。

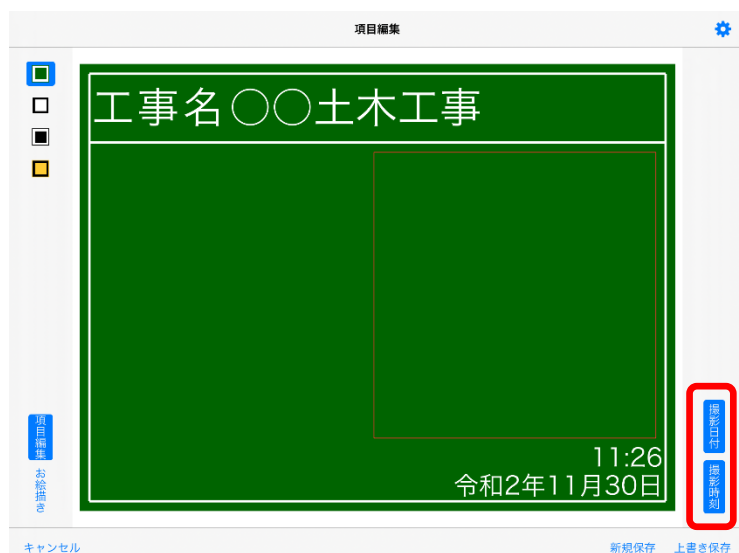
2.6.6.1. 黒板確認画面で表示設定



黒板確認画面では「撮影日時」と「撮影時刻」をタップすることで表示/非表示を切り替えます。

各種設定画面で「撮影日時の表示設定」を「アプリ全体の設定に従う」にした場合はこれらのボタンは非活性状態となります。

2.6.6.2. 項目編集画面で表示設定



項目編集画面では「撮影日時」と「撮影時刻」をタップすることで表示/非表示を切り替えます。

各種設定画面で「撮影日時の表示設定」を「アプリ全体の設定に従う」にした場合はこれらのボタンは非活性状態となります。

2.6.6.3. 黒板リスト画面で表示設定



黒板リスト画面で「編集」ボタンをタップします。



表示設定を変更したい黒板を選択して「表示設定」ボタンをタップします。

各種設定画面で「撮影日時の表示設定」を「アプリ全体の設定に従う」にした場合はこれらのボタンは非活性状態となります。

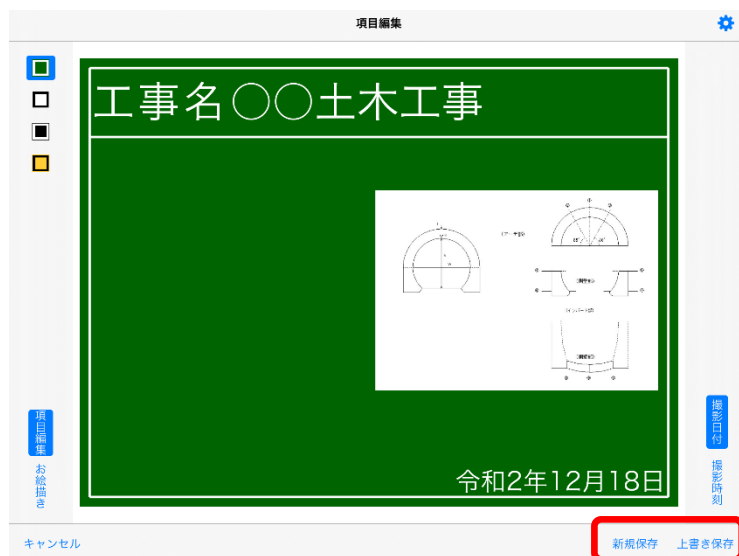


「撮影日付」と「撮影時刻」をタップして選択中の黒板の表示設定を変更します。

チェックがついていると選択中の全ての黒板に該当項目が表示されています。

2.6.7. 黒板編集後の保存

「項目編集」画面で編集した黒板を保存できます。

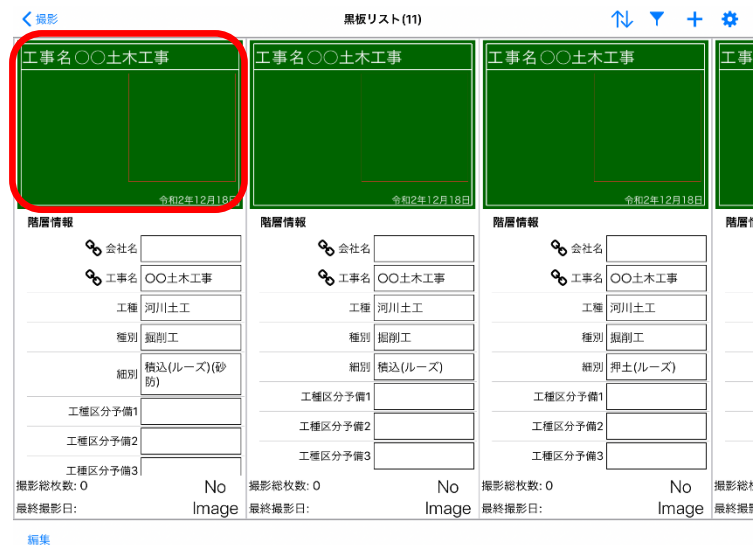


「上書き保存」ボタンをタップすると編集した内容で上書き保存します。

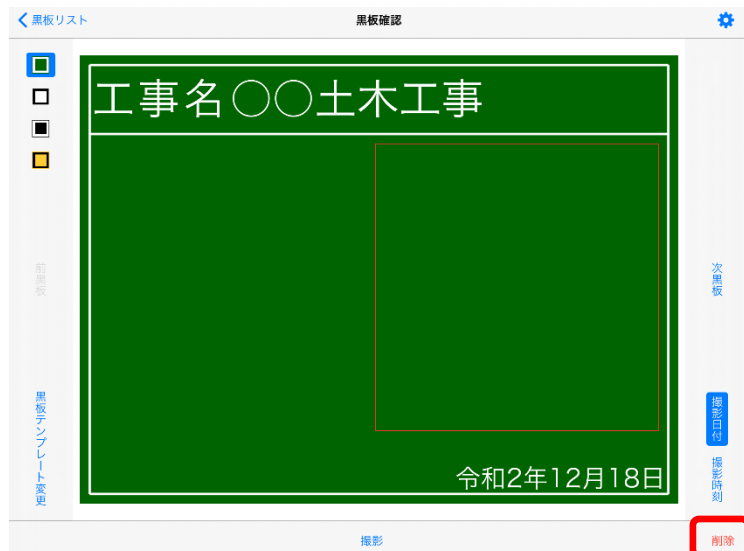
「新規保存」ボタンをタップすると、編集した内容をもとに黒板を新規で保存します。

2.7. 黒板の削除

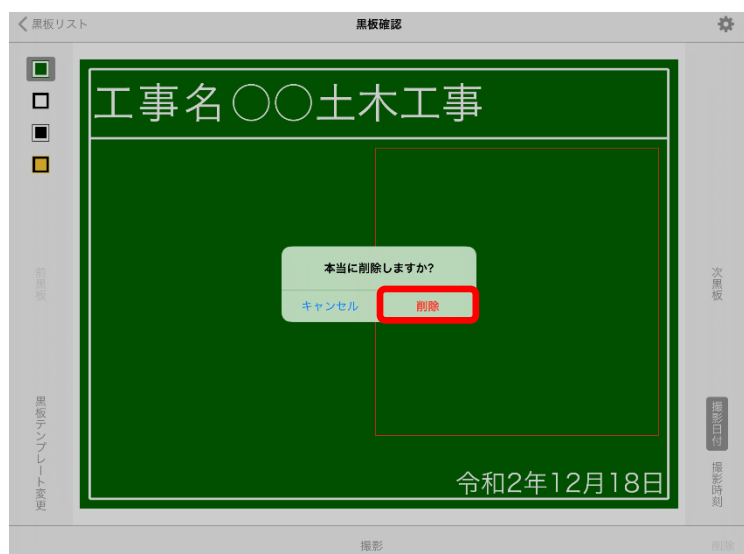
指定した黒板を削除する方法をご紹介します。



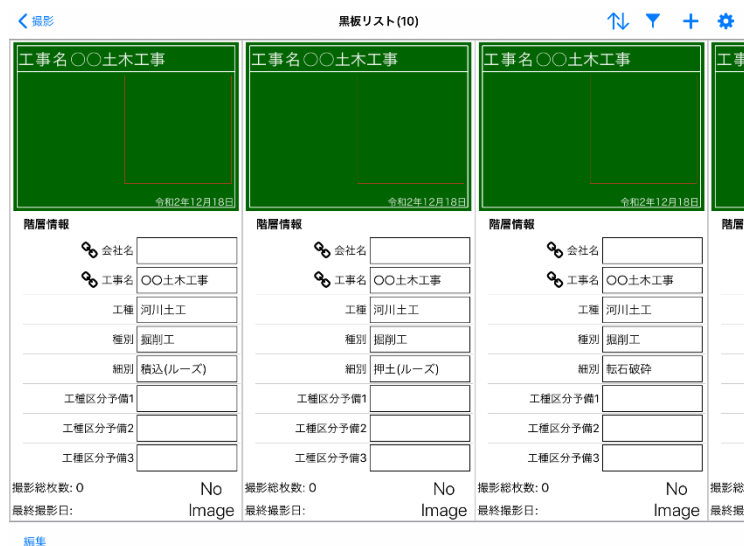
「黒板リスト」画面で削除したい黒板をタップします。



「黑板確認」画面で「削除」ボタンをタップします。



確認メッセージが表示されたら「削除」をタップします。

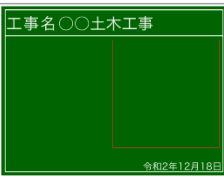
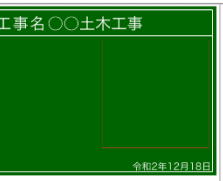


対象の黑板が削除され「黑板リスト」画面に戻ります。

指定した黑板の削除方法は以上です。

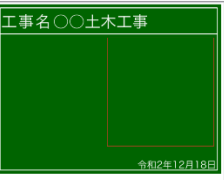
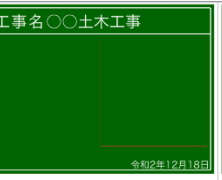
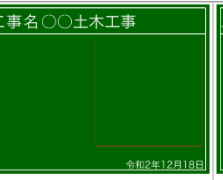
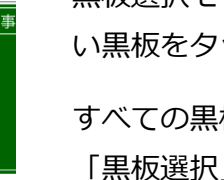
次に、複数の黒板を同時に削除する方法をご紹介します。

黒板リスト(11)

工事名〇〇土木工事	工事名〇〇土木工事	工事名〇〇土木工事	工事
 令和2年12月18日	 令和2年12月18日	 令和2年12月18日	 令和2年12月18日
階層情報 会社名 工事名 〇〇土木工事 工種 河川土工 種別 掘削工 細別 橋込(ルース)(砂防) 工種区分予備1 工種区分予備2 工種区分予備3 撮影総枚数: 0 最終撮影日: No Image	階層情報 会社名 工事名 〇〇土木工事 工種 河川土工 種別 掘削工 細別 橋込(ルース) 工種区分予備1 工種区分予備2 工種区分予備3 撮影総枚数: 0 最終撮影日: No Image	階層情報 会社名 工事名 〇〇土木工事 工種 河川土工 種別 掘削工 細別 岸土(ルース) 工種区分予備1 工種区分予備2 工種区分予備3 撮影総枚数: 0 最終撮影日: No Image	階層情報 会社名 工事名 〇〇土木工事 工種 河川土工 種別 掘削工 細別 岸土(ルース) 工種区分予備1 工種区分予備2 工種区分予備3 撮影総枚数: 0 最終撮影日: No Image
編集			

「黒板リスト」画面で「編集」ボタンをタップします。

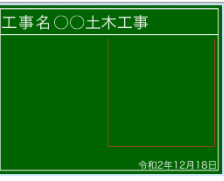
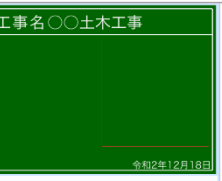
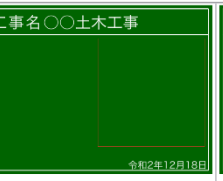
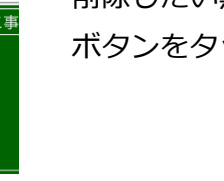
黒板リスト(選択中: 0個)

工事名〇〇土木工事	工事名〇〇土木工事	工事名〇〇土木工事	工事
 令和2年12月18日	 令和2年12月18日	 令和2年12月18日	 令和2年12月18日
階層情報 会社名 工事名 〇〇土木工事 工種 河川土工 種別 掘削工 細別 橋込(ルース)(砂防) 工種区分予備1 工種区分予備2 工種区分予備3 撮影総枚数: 0 最終撮影日: No Image	階層情報 会社名 工事名 〇〇土木工事 工種 河川土工 種別 掘削工 細別 橋込(ルース) 工種区分予備1 工種区分予備2 工種区分予備3 撮影総枚数: 0 最終撮影日: No Image	階層情報 会社名 工事名 〇〇土木工事 工種 河川土工 種別 掘削工 細別 岸土(ルース) 工種区分予備1 工種区分予備2 工種区分予備3 撮影総枚数: 0 最終撮影日: No Image	階層情報 会社名 工事名 〇〇土木工事 工種 河川土工 種別 掘削工 細別 岸土(ルース) 工種区分予備1 工種区分予備2 工種区分予備3 撮影総枚数: 0 最終撮影日: No Image
キャンセル	黒板選択	表示設定	黒板削除

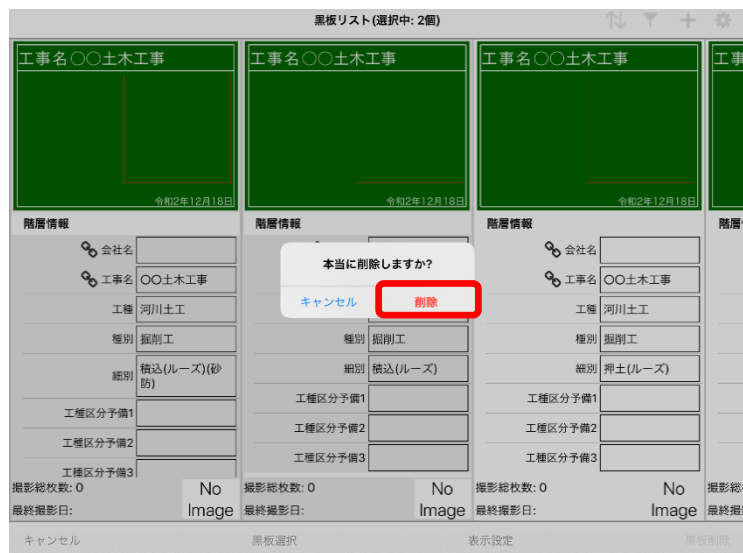
黒板選択モードになりますので、削除したい黒板をタップします。

すべての黒板を一括で削除したい場合は「黒板選択」ボタンをタップ後、「全選択」を選択します。

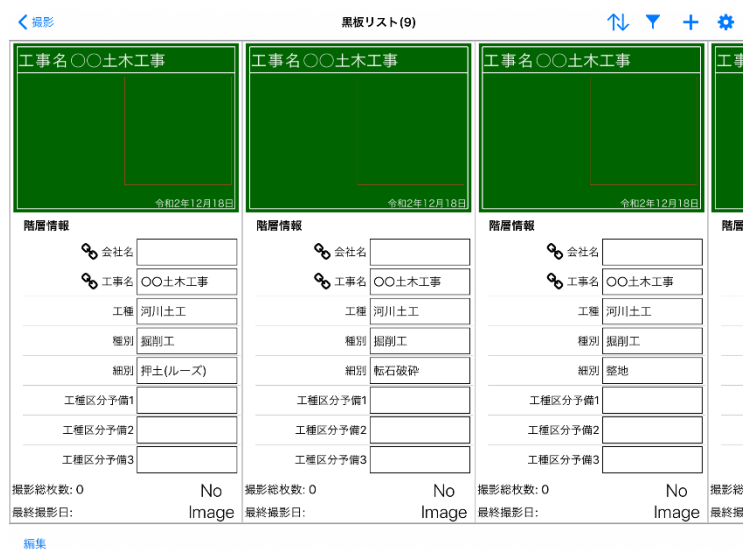
黒板リスト(選択中: 2個)

工事名〇〇土木工事	工事名〇〇土木工事	工事名〇〇土木工事	工事
 令和2年12月18日	 令和2年12月18日	 令和2年12月18日	 令和2年12月18日
階層情報 会社名 工事名 〇〇土木工事 工種 河川土工 種別 掘削工 細別 橋込(ルース)(砂防) 工種区分予備1 工種区分予備2 工種区分予備3 撮影総枚数: 0 最終撮影日: No Image	階層情報 会社名 工事名 〇〇土木工事 工種 河川土工 種別 掘削工 細別 橋込(ルース) 工種区分予備1 工種区分予備2 工種区分予備3 撮影総枚数: 0 最終撮影日: No Image	階層情報 会社名 工事名 〇〇土木工事 工種 河川土工 種別 掘削工 細別 岸土(ルース) 工種区分予備1 工種区分予備2 工種区分予備3 撮影総枚数: 0 最終撮影日: No Image	階層情報 会社名 工事名 〇〇土木工事 工種 河川土工 種別 掘削工 細別 岸土(ルース) 工種区分予備1 工種区分予備2 工種区分予備3 撮影総枚数: 0 最終撮影日: No Image
キャンセル	黒板選択	表示設定	黒板削除

削除したい黒板を選択したら「黒板削除」ボタンをタップします。



確認メッセージが表示されたら「削除」をタップします。



対象の黒板が削除され「黒板リスト」画面に戻ります。

複数の黒板の削除方法は以上です。

3. 撮影について

3.1. 画面構成

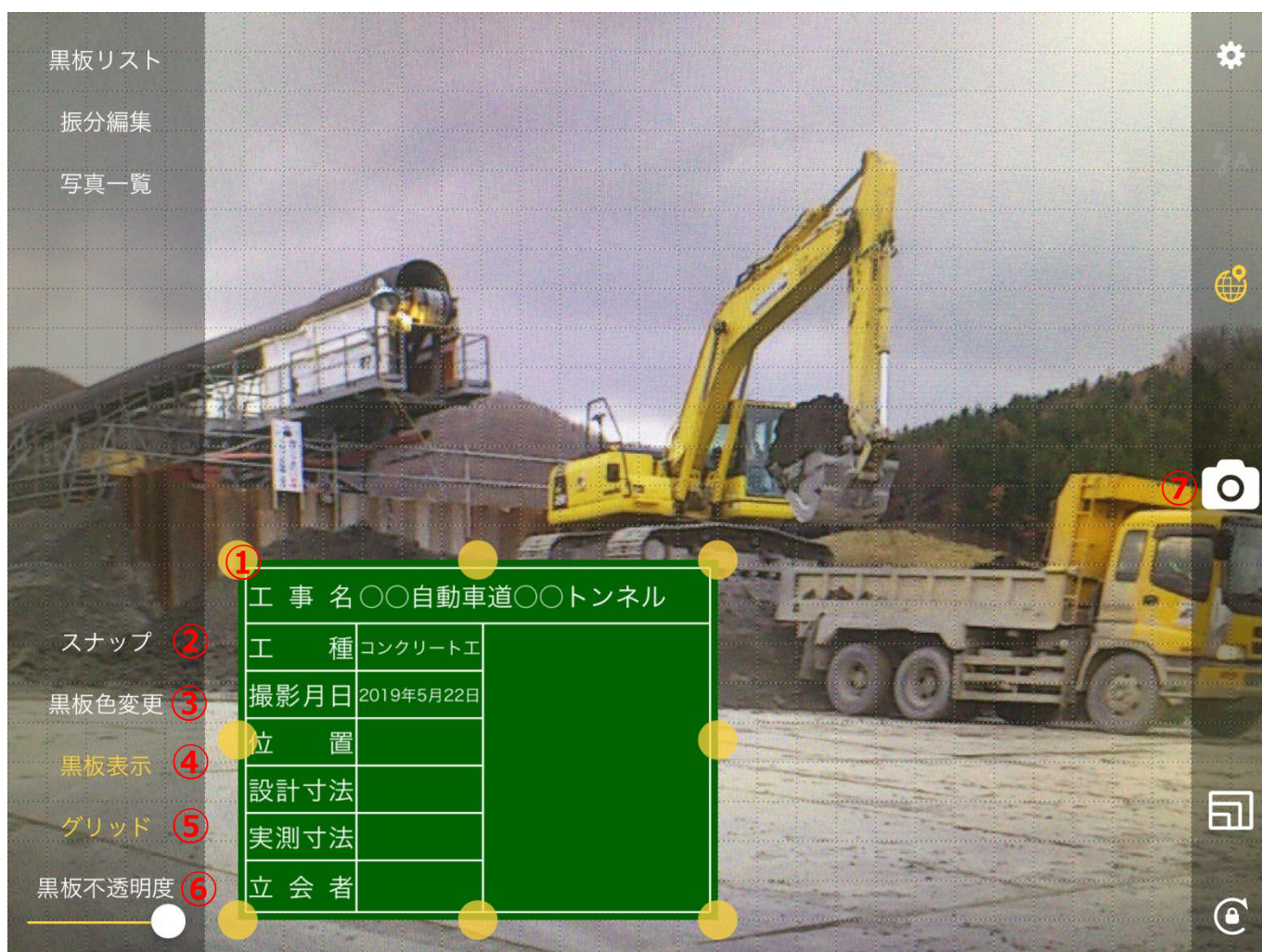
本アプリのメイン画面はスナップ写真の撮影画面となっています。




No.	名称	内容
①	黒板リスト	「黒板リスト」画面に遷移します。（「2 黒板の準備」参照）
②	振分編集	「振分編集」画面に遷移します。（「2.6.2 撮影画面から階層情報・写真情報を編集する」参照）
③	写真一覧	撮影した写真一覧の画面に遷移します。（「4 撮影写真について」参照）
④	スナップ	黒板表示ありの写真撮影モードになります。（「3.2 黒板表示ありの写真撮影」参照）

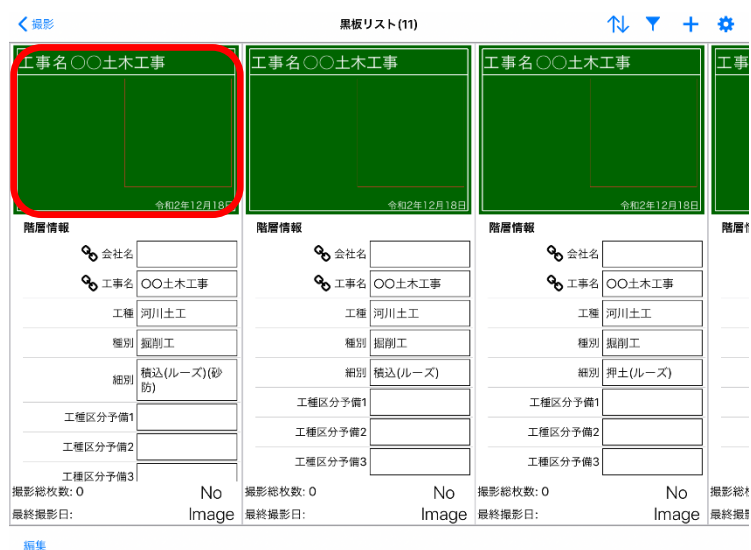
No.	名称	内容
⑤	設定	「Wi-Fi サーバー」の起動や「各種設定」を開きます。（「2.5.1Wi-Fi 転送を利用して黒板データを取り込む」「7 各種設定について」参照）
⑥	フラッシュ	フラッシュ機能が搭載された機種の場合、フラッシュの ON/OFF を制御することができます。 【注意】フラッシュ機能が搭載されていない場合、使用できません。
⑦	位置情報	写真に位置情報を設定する場合に、ON(黄色表示)にすることで位置情報が付与されます。
⑧	解像度	写真撮影時に写真解像度を変更することができます。
⑨	回転ロック	端末の向きを変えた（縦回転／横回転した）場合に各種アイコンの位置を固定します。

3.2. 黒板表示ありの写真撮影



No.	名称	内容
①	黒板	黒板のサイズ変更（拡大／縮小）や表示位置の移動が可能です。また、黒板をタップすると、「項目編集」画面に遷移します。
②	スナップ	スナップ写真の撮影モードになります。黒板は消去され、黒板情報は無視されます。
③	黒板色変更	黒板の色を変更できます。（「2.6.5 黒板色設定」参照）
④	黒板表示	黒板の表示／非表示を切替えます。
⑤	グリッド	撮影画面上のグリッド線の表示・非表示を切換えます。グリッド線を表示した場合、黒板表示位置の移動時にグリッド線に合わせて移動します。
⑥	黒板不透明度	表示している黒板の不透明度をスライダーで変更することができます。
⑦		写真を撮影します。

黒板表示ありの写真撮影は、黒板リストより行います。



「黒板リスト」画面を開いて任意の黒板をタップします。



「黒板確認」画面が表示されますので、「撮影」ボタンをタップします。



「黒板リスト」画面で選択した黒板が表示された状態で写真撮影画面を表示します。



📷 をタップして写真撮影後、プレビュー画面に遷移します。

再撮影する場合は「キャンセル」ボタンを、写真を保存する場合は「保存」ボタンをタップします。

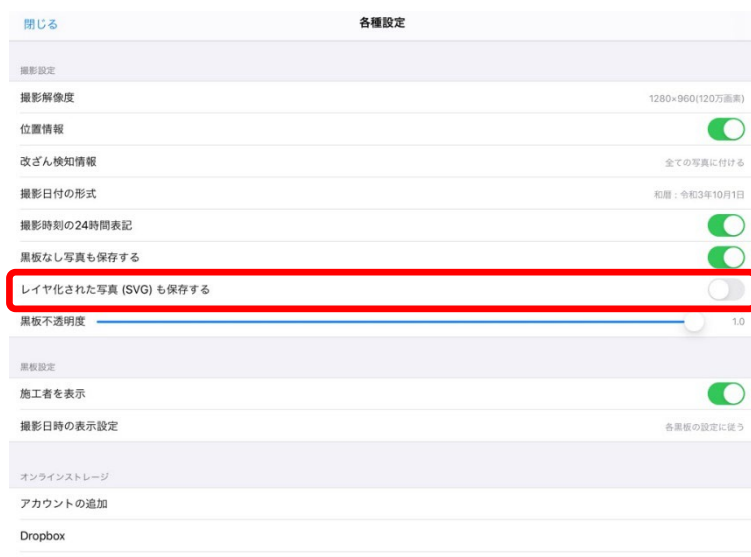
写真の保存後は、撮影画面に戻ります。そのまま撮影することも可能ですが、黒板を変更して別の写真を撮影する場合は、「黒板リスト」画面から黒板を選択して撮影してください。



「黒板リスト」画面で写真を保存した黒板を表示すると、以下の情報が表示されます。

- ・撮影総枚数
- ・最終撮影日
- ・サムネイル

3.3. レイヤ化された写真の保存



「各種設定」画面を開いて「レイヤ化された写真 (SVG) も保存する」をオンにします。



確認メッセージが表示されるため、内容についてご了承いただける場合は「OK」をタップします。

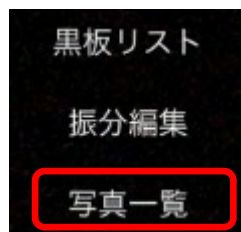
※本機能は試験的に導入されているものです。レイヤ化された写真の使用については発注者と協議のうえ、必要に応じて設定することを推奨します。



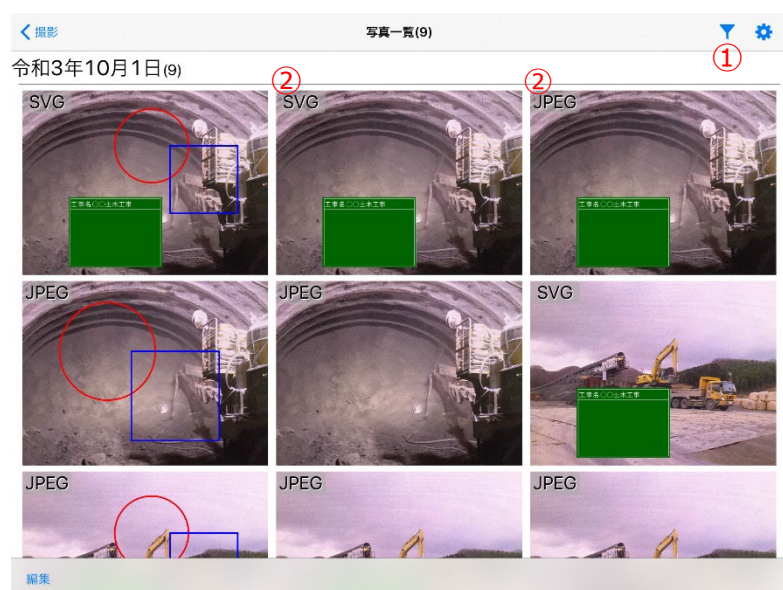
写真を撮影して保存すると、通常の写真 (JPEG) とレイヤ化された写真 (SVG) が同時に保存されます。

4. 撮影写真について

4.1. 写真の一覧表示



保存した写真は、撮影画面の「写真一覧」をタップすると参照できます



写真一覧画面では、撮影日付ごとに表示されます。

① 写真一覧の絞り込み条件を設定します。

② 写真のファイル形式を表します。

JPEG : 通常の写真

SVG : レイヤ化された写真

4.2. 写真一覧の絞り込み表示



写真一覧画面上部の絞り込みボタンをタップします。

「黒板の有無」、「描画の有無」についての絞り込み条件を設定します。

- ① 絞り込みを解除します。
(「黒板の有無」を「全ての写真」、「描画の有無」を「全ての写真」、「ファイル形式」を「全て表示」に設定します。)

黒板の有無	全ての写真	黒板あり写真、黒板なし写真を全て表示します。
	黒板あり	黒板あり写真のみを表示します。
	黒板なし	黒板なし写真のみを表示します。
描画の有無	全ての写真	描画あり写真、描画なし写真を全て表示します。
	描画あり	描画あり写真のみを表示します。
	描画なし	描画なし写真のみを表示します。

ファイル形式	全て表示	通常の写真(JPEG)、レイヤ化された写真(SVG)を全て表示します。
	通常の写真のみ表示	通常の写真(JPEG)のみを表示します。
	レイヤ化された写真のみ表示	レイヤ化された写真(SVG)のみを表示します。



絞り込み条件の設定をした後、絞り込み画面上部の「完了」ボタンをタップします。




絞り込み条件に合致した写真のみが一覧に表示されます。

4.3. 写真の転送及び外部出力について

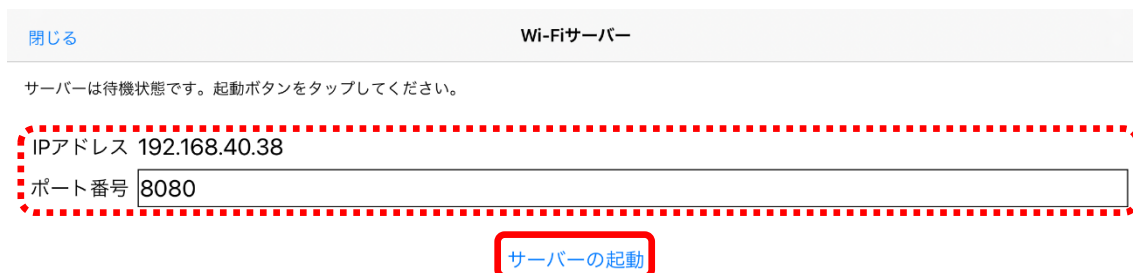
4.3.1. Wi-Fi を利用して転送する

【注意】撮影写真を Wi-Fi で取り込むには、弊社製品「現場編集長 CALSMaster」が別途必要になります。本アプリのみでの Wi-Fi 転送はできませんのでご注意ください。

本アプリの画面右上の「設定」ボタン  をタップし、「Wi-Fi サーバー」をタップします。



「Wi-Fi サーバー」をタップすると、端末に割り当てられている IP アドレスと、本アプリで設定しているポート番号が表示されます。「サーバーの起動」をタップすると、サーバーとして起動されます。



お使いの PC から「現場編集長 CALSMaster」の「写真管理ツール」を起動しメニューの「編集(E)」->「写真の追加(A)」->「現場 D E カメラから写真追加(D)」から「現場 DE カメラから写真追加」画面を起動して、本アプリで表示されている IP アドレス、ポート番号を入力して取り込みます。

詳しい操作方法は「現場編集長 CALSMaster」のマニュアルをご参照ください。

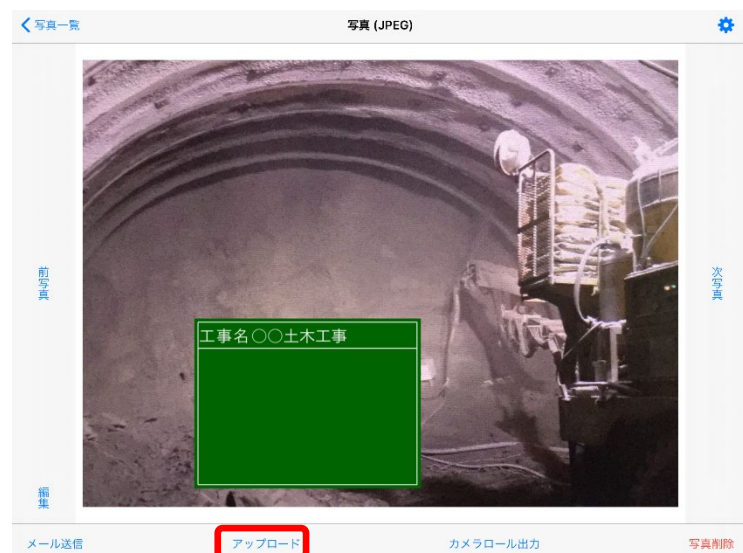
データ転送が終了したら「サーバーの終了」をタップして終了します。



4.3.2. ネットワークを利用して転送する



写真一覧を開き、写真のサムネイルをタップします。



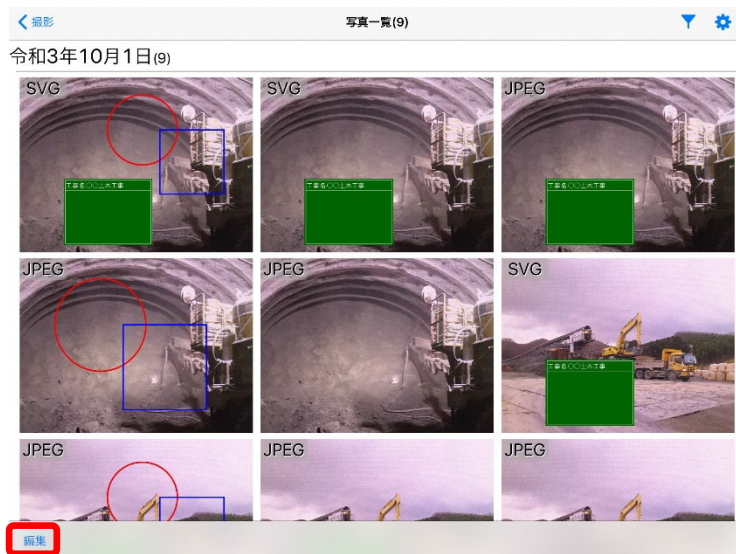
「アップロード」ボタンをタップします。



確認メッセージが表示されたら「アップロード」ボタンをタップします。


設定したオンラインストレージへ写真をアップロードします。(オンラインストレージの設定方法は「7.3」参照)

複数の写真を一括でアップロードすることもできます。



写真一覧で「編集」ボタンをタップします。



アップロードしたい写真をタップで選択します。選択された写真には  が付きます。

写真全部を選択または選択解除する場合は「写真選択」ボタンをタップして「全選択」ボタンまたは「全解除」ボタンをタップしてください。



写真が選択された状態で「操作」ボタンをタップします。

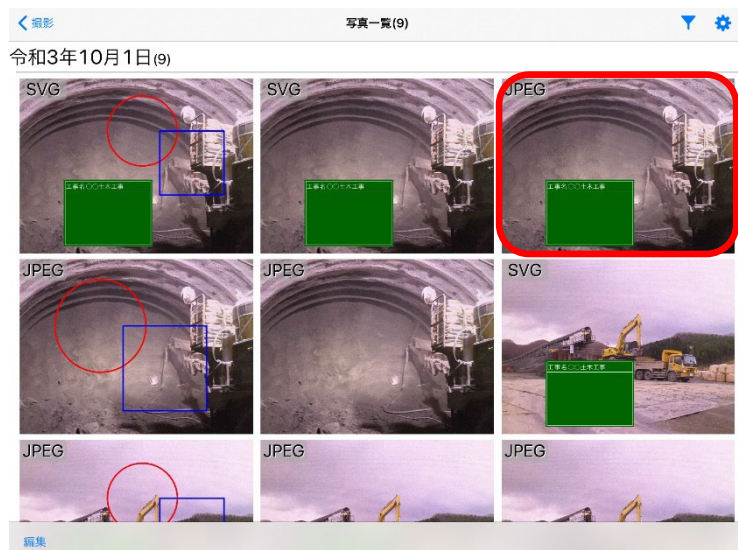


「アップロード」をタップしてください。



メッセージが表示します。「アップロード」ボタンをタップすると設定したオンラインストレージへ写真をアップロードします。

4.3.3.メール送信を利用して転送する



写真一覧を開き、任意の写真をタップします。

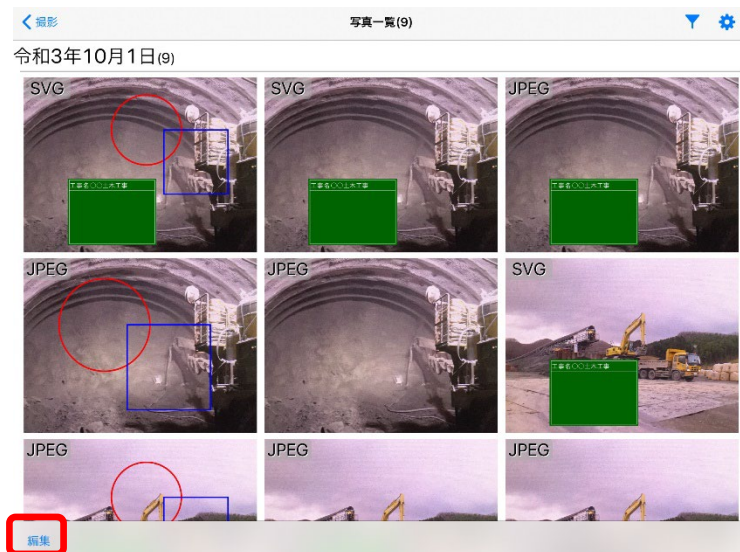


「メール送信」ボタンをタップします。

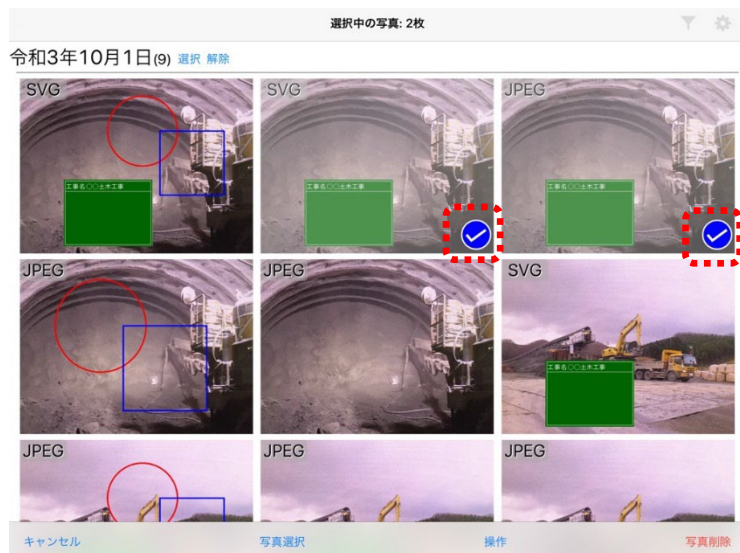



選択した写真が添付された状態でメールが起動します。「宛先」「件名」「本文」などを入力してメールを送信してください。

複数の写真を一括でメール送信することもできます。



写真一覧で「編集」ボタンをタップします。



メール送信したい写真をタップで選択します。選択された写真には  が付きます。

写真全部を選択または選択解除する場合は「写真選択」ボタンをタップして「全選択」ボタンまたは「全解除」ボタンをタップしてください。



写真が選択された状態で「操作」ボタンをタップします。

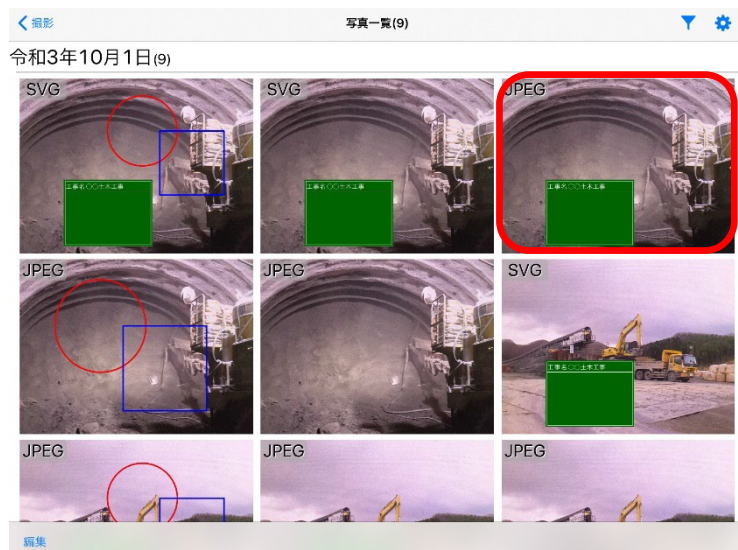


「メール送信」ボタンをタップします。

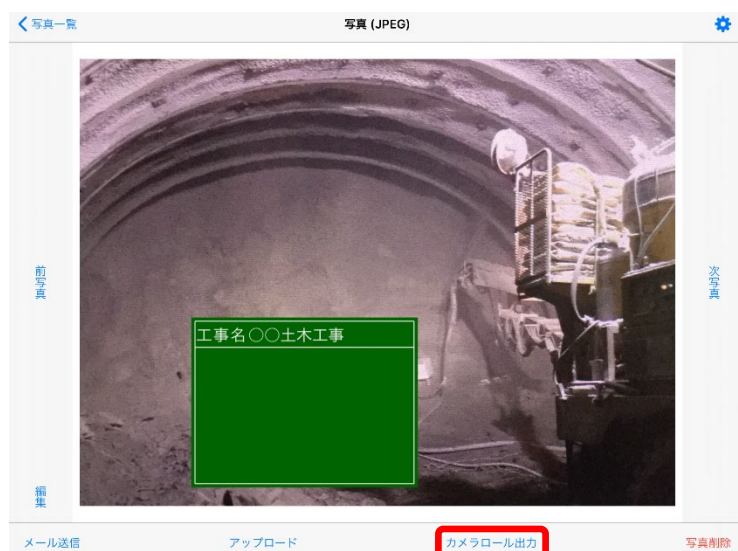


選択した写真が添付された状態でメールが起動します。「宛先」「件名」「本文」などを入力してメールを送信してください。

4.3.4.カメラロールに出力する



写真一覧を開き、任意の写真をタップします。



「カメラロール出力」ボタンをタップします。

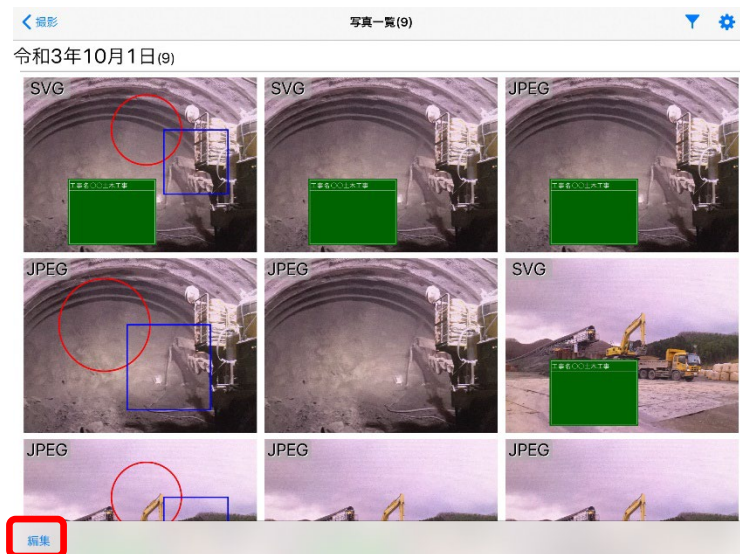
※レイヤ化された写真(SVG)はカメラロール出力機能を利用できません。



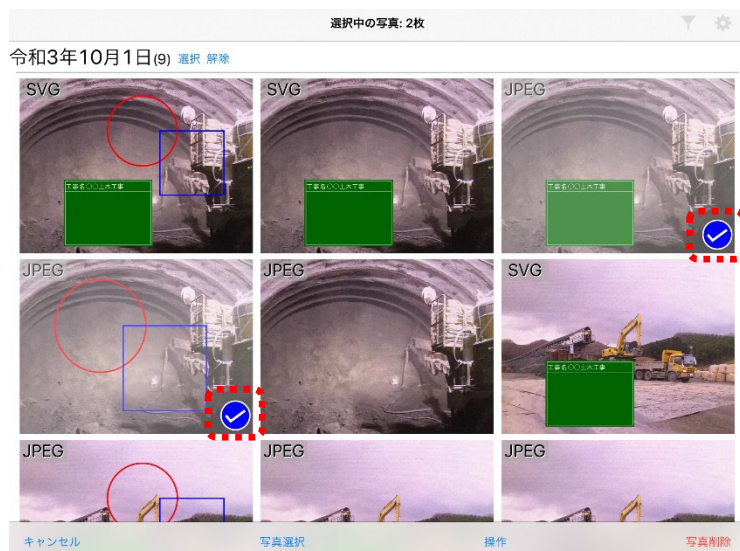
メッセージが表示されますので「閉じる」ボタンをタップします。


出力した写真はカメラロールで確認してください。

複数の写真を一括でカメラロール出力することもできます。



写真一覧で「編集」ボタンをタップします。

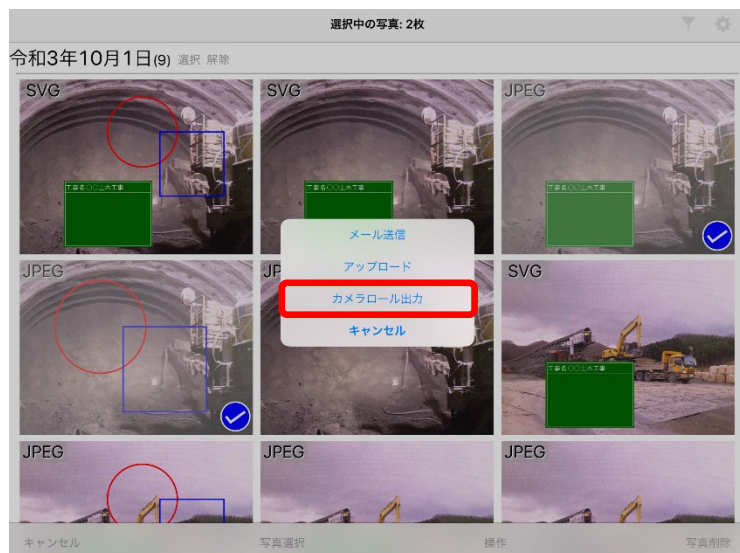


カメラロールへ出力したい写真をタップで選択します。選択された写真には  が付きます。

写真全部を選択または選択解除する場合は「写真選択」ボタンをタップして「全選択」ボタンまたは「全解除」ボタンをタップしてください。

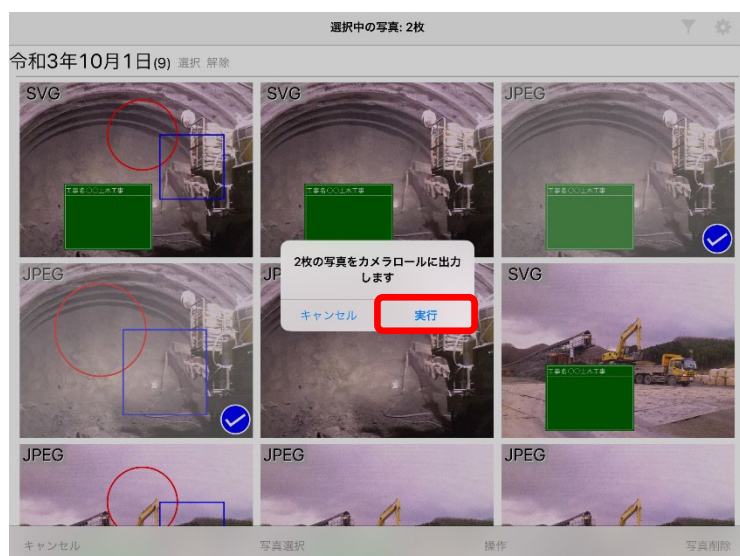


写真が選択された状態で「操作」ボタンをタップします。



「カメラロール出力」ボタンをタップします。

※選択した写真にレイヤ化された写真(SVG)が含まれる場合はカメラロール出力機能を利用できません。通常の写真(JPEG)のみを選択してください。



確認メッセージが表示されますので「実行」ボタンをタップしてください。

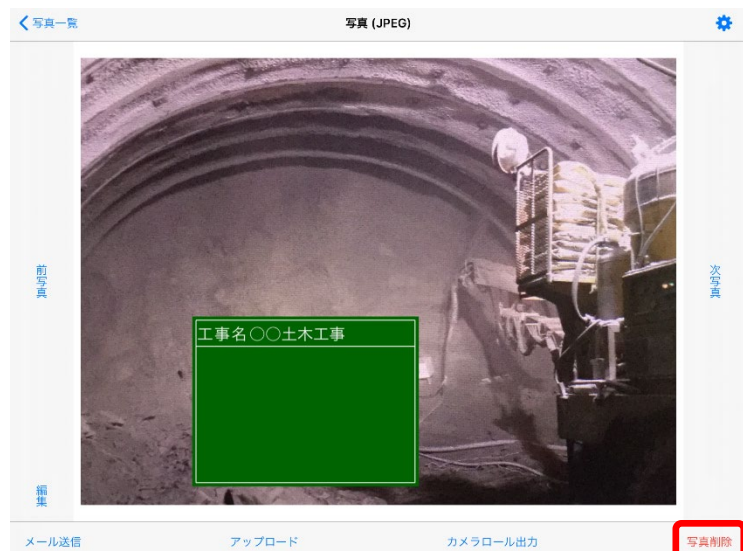
出力した写真はカメラロールで確認してください。

4.4. 写真の削除

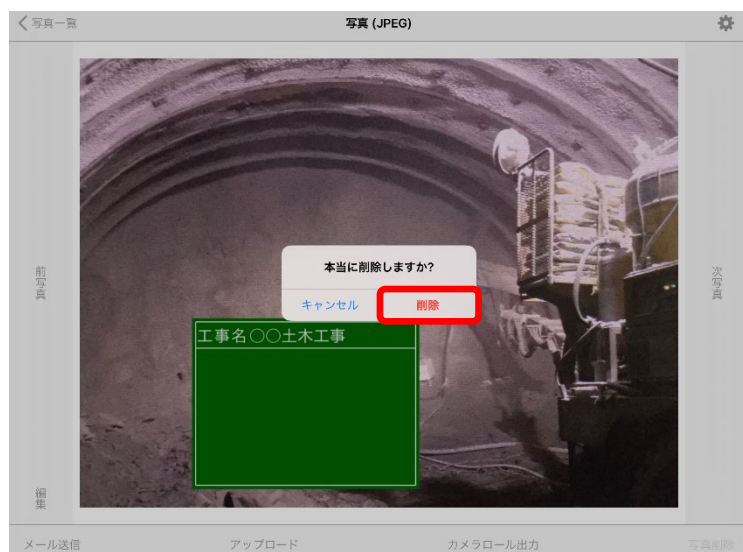
指定した写真を削除する方法をご紹介します。



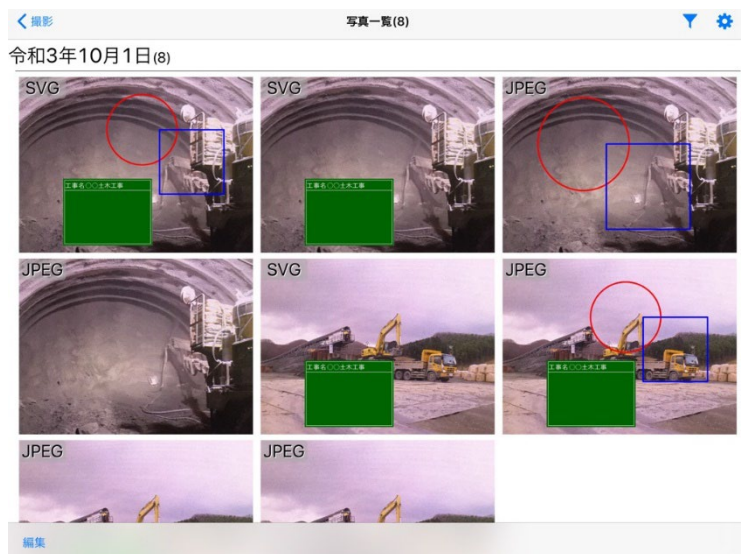
写真一覧を開き、任意の写真をタップします。



「写真削除」ボタンをタップします。



確認メッセージが表示されたら「削除」をタップします。



対象の写真が削除され写真一覧に戻ります。

指定した写真の削除方法は以上です。

次に、複数の写真を同時に削除する方法をご紹介します。



写真一覧で「編集」ボタンをタップします。



選択モードになりますので、削除したい写真をタップします。

すべての写真を一括で削除したい場合は「写真選択」ボタンをタップした後「全選択」ボタンをタップします。



削除したい写真を選択したら「写真削除」ボタンをタップします。



確認メッセージが表示されたら「削除」をタップします。

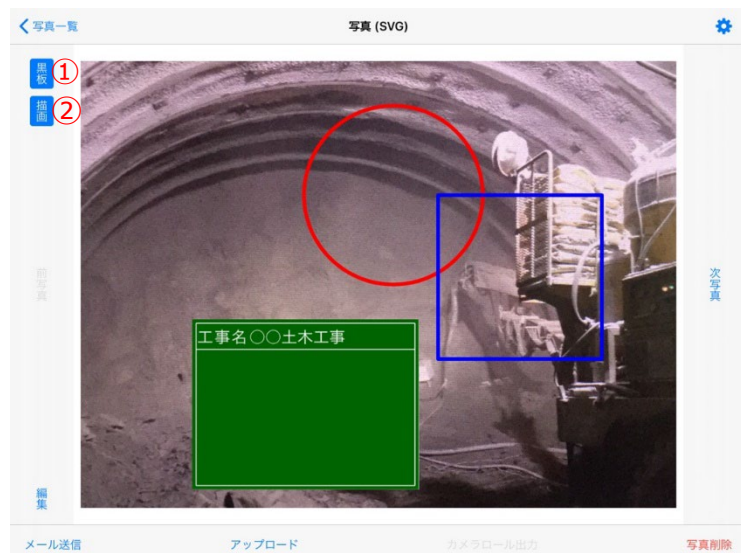


対象の写真が削除されます。

複数の写真の削除方法は以上です。

4.5. レイヤ化された写真のレイヤ表示/非表示

写真画面、プレビュー画面、写真編集画面でレイヤ化された写真の「黒板（電子小黒板レイヤ）」、「描画（注釈レイヤ）」の表示/非表示を切り替えることができます。



① 黒板（電子小黒板レイヤ）の表示/非表示を切り替えます。

② 描画（注釈レイヤ）の表示/非表示を切り替えます。

※写真編集画面ではこのボタンは存在せず、常に描画が表示されます。

5. 手描き入力について

黒板や写真に、手描きで情報（テキストや線、図形等）を後付けすることができます。

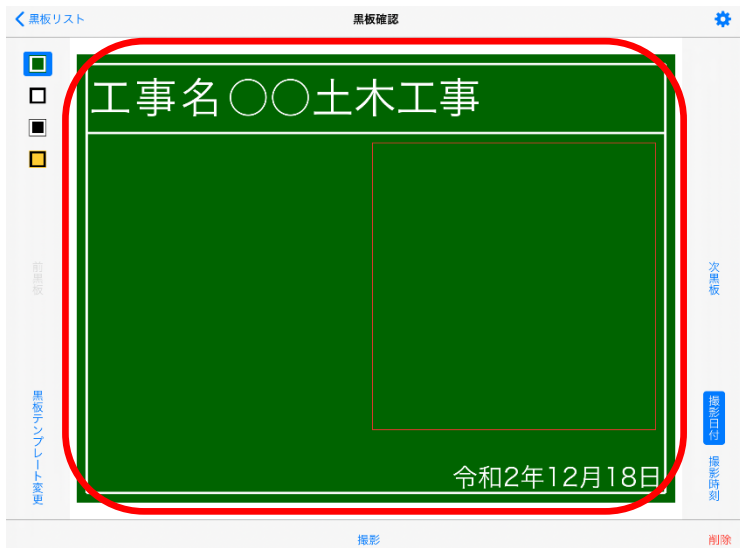
5.1. お絵描き画面を表示する

黒板は項目編集画面、写真はプレビュー画面と写真画面からお絵かき画面を表示します。

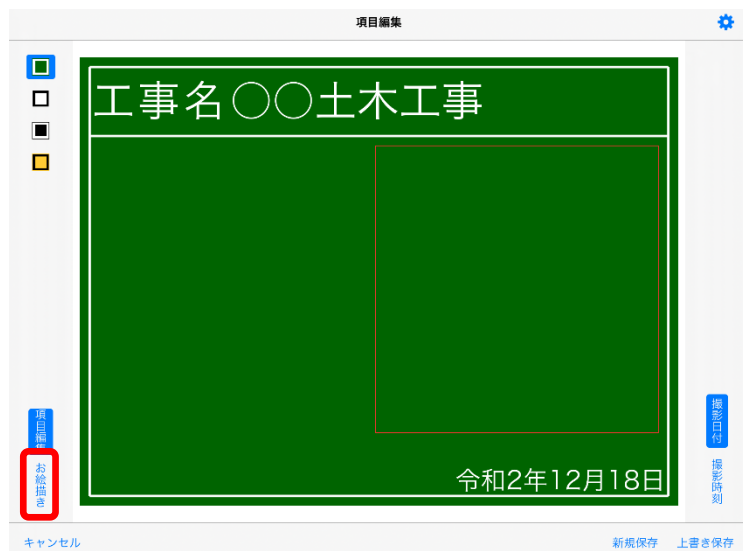
5.1.1. 黒板のお絵描き画面



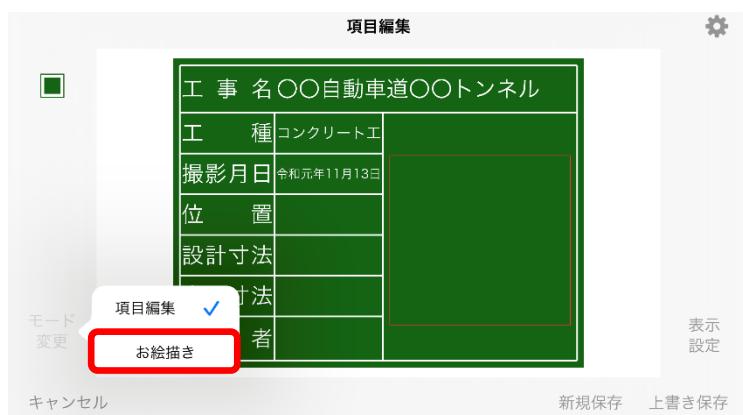
黒板リスト上の黒板部分をタップします。



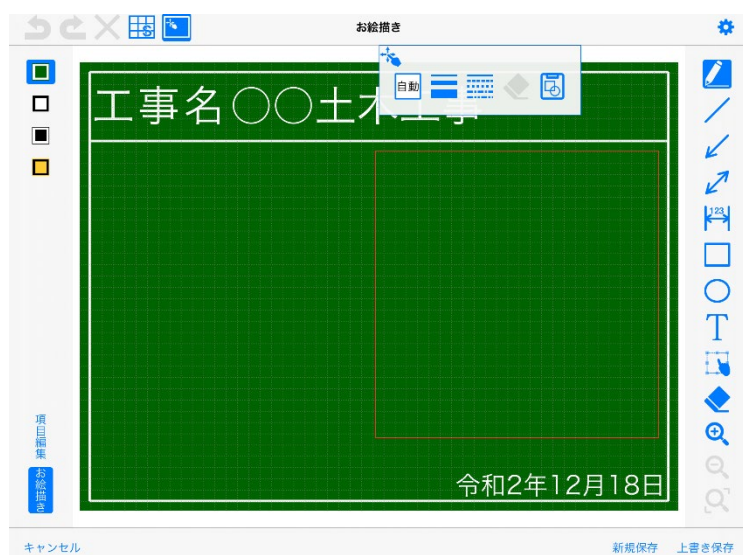
「黒板確認」画面が表示されたら黒板部分をタップします。



「項目編集」画面が表示されたら「お絵描き」ボタンをタップします。



iPhone の場合は「モード変更」>「お絵描き」を選択します。

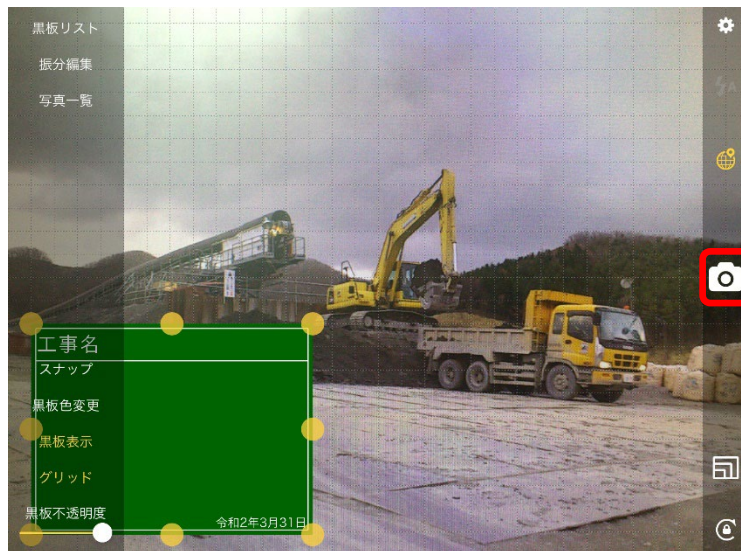


「お絵描き」画面が表示されます。

本画面で黒板に線や図形等を手描き入力します。

5.1.2. 写真のお絵描き画面

5.1.2.1. プレビュー画面からお絵かき画面を表示



「撮影」画面のシャッターをタップします。



「プレビュー」画面が表示されたら「編集」ボタンをタップします。



ダイアログが表示されたら「はい」をタップします。



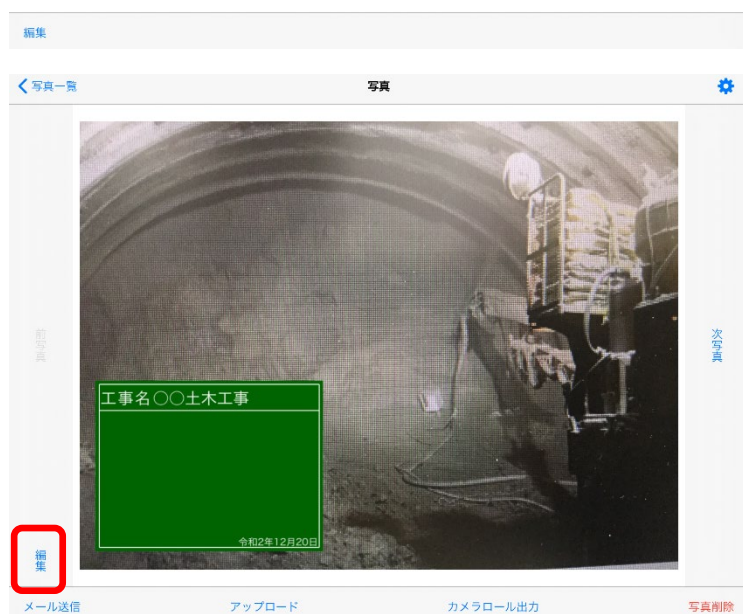
「お絵描き」画面が表示されます。

本画面で写真に線や図形等を手描き入力します。

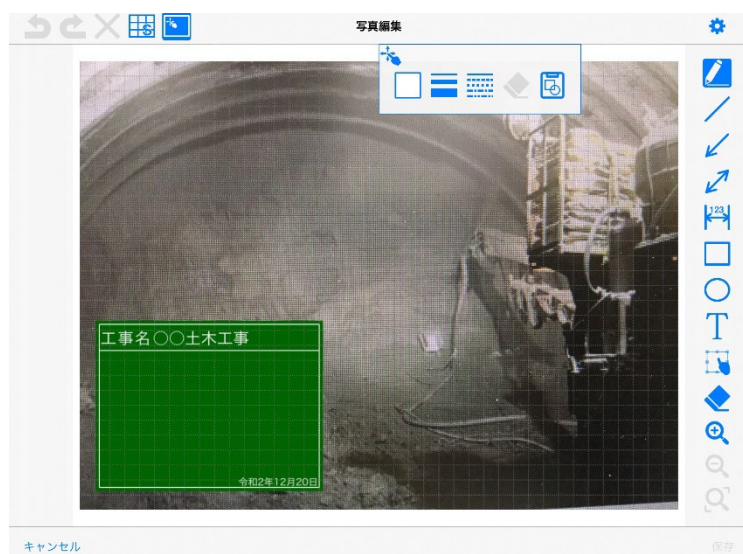
5.1.2.2. 写真画面からお絵かき画面を表示



「写真一覧」画面の写真サムネイルをタップします。



写真画面が表示されたら「編集」ボタンをタップします。



「お絵描き」画面が表示されます。

本画面で写真に線や図形等を手描き入力します。

5.2. お絵描きツールの種類

1415161718

項目編集
お絵描き

お絵描き

自動

工 事 名
〇〇自動車通〇〇ビル

工 種	コンクリート工
撮影月日	令和元年10月8日
位 置	
設計寸法	
実測寸法	
立 会 者	

1

2

3

4

5

6

7

8

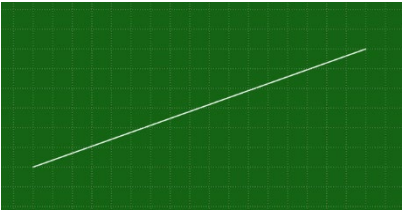
9

10


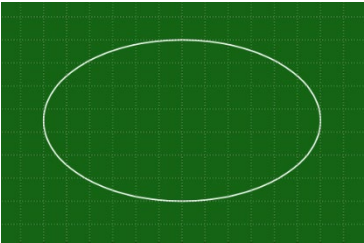








11








12

13

No.	アイコン	名称	説明
①		自由線	<p>スワイプして線を描画します。</p> <p>スナップ設定に関わらず、自由に線を描くことができます。</p> 
②		直線	<p>タップした地点から指を離した地点まで直線を描画します。</p> <p>スナップ有効時はグリッド線に合わせて配置されます。</p> 
③		単方向矢印	<p>タップした地点から指を離した地点まで単方向矢印を描画します。(終点が矢印になります)</p> <p>スナップ有効時はグリッド線に合わせて配置されます。</p> 

No.	アイコン	名称	説明
④		双方向矢印	<p>タップした地点から指を離した地点まで双方向矢印を描画します。</p> <p>スナップ有効時はグリッド線に合わせて配置されます。</p> 
⑤		寸法線	<p>タップした地点から指を離した地点まで寸法線を描画し、入力した寸法値を同時に描画します。寸法値の入力をキャンセルした場合は寸法線のみを描画します。</p> <p>スナップ有効時はグリッド線に合わせて配置されます。</p> 
⑥		矩形	<p>タップした地点から指を離した地点までを対角線とした矩形を描画します。</p> <p>スナップ有効時はグリッド線に合わせて配置されます。</p> 

No.	アイコン	名称	説明
⑦		円形	<p>タップした地点から指を離れた地点までの矩形の各辺が接線となる円形を描画します。</p> <p>スナップ有効時はグリッド線に合わせて配置されます。</p> 
⑧		テキスト	<p>タップした地点に、入力したテキストを描画します。</p> <p>空白のみ入力、または空の場合は「キャンセル」とみなします。</p> <p>入力内容の前後の空白は除外されます。</p> 
⑨		図形選択	タップやスワイプで図形やテキストを選択します。
⑩		消去	スワイプした図形やテキストを消去します。
⑪		拡大	黒板を拡大表示します。
⑫		縮小	黒板を縮小表示します。
⑬		画面に合わせる	画面内に収まるように黒板を表示します。
⑭		元に戻す	直前の操作(描画、削除、編集)を取り消して元の状態に戻します。






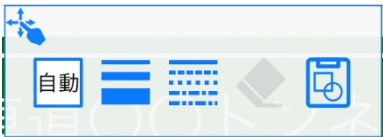
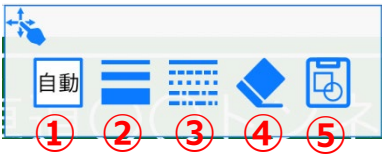


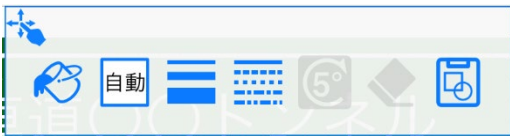


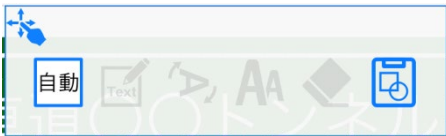
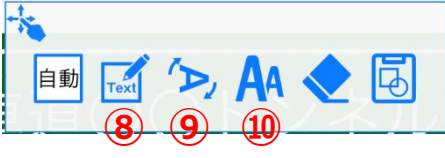
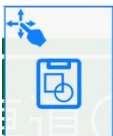
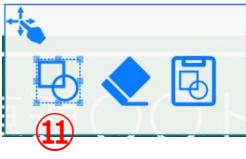
No.	アイコン	名称	説明
⑮		やり直し	元に戻した操作をやり直します。
⑯		全消去	描画内容を全て消去します。
⑰		グリッド・スナップ設定	グリッドの表示・非表示、スナップの有効・無効を設定します。
⑱		サブメニュー表示切替	サブメニューの表示・非表示を切り替えます。
⑲		描画ツール選択	<p>iPhone の場合はここから自由線以外の描画ツール②～⑧を選択します。</p> 
⑳		拡大縮小	<p>iPhone の場合はここから「⑪拡大」、「⑫縮小」、「⑬画面に合わせる」をします。</p> 


5.3. サブメニュー

図形やテキストを描画する時や、選択した時に表示されるメニューです。

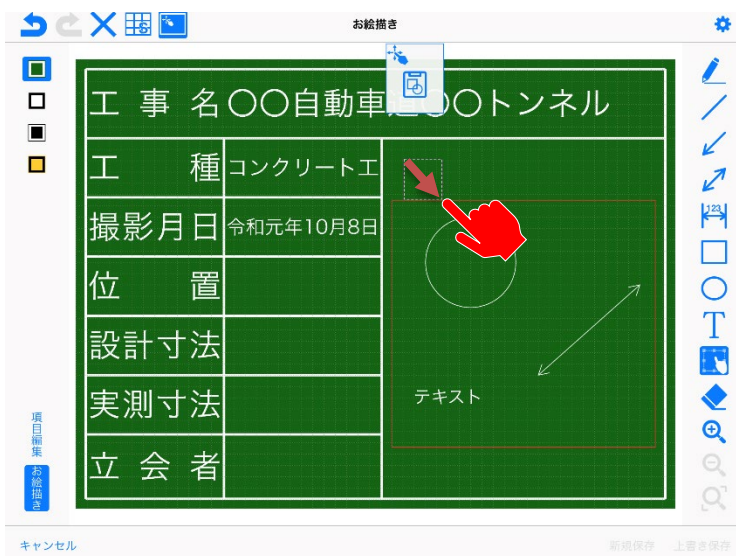
図形やテキストのデザイン等を設定できます。

サブメニューはドラッグすることで任意の場所に配置できます。

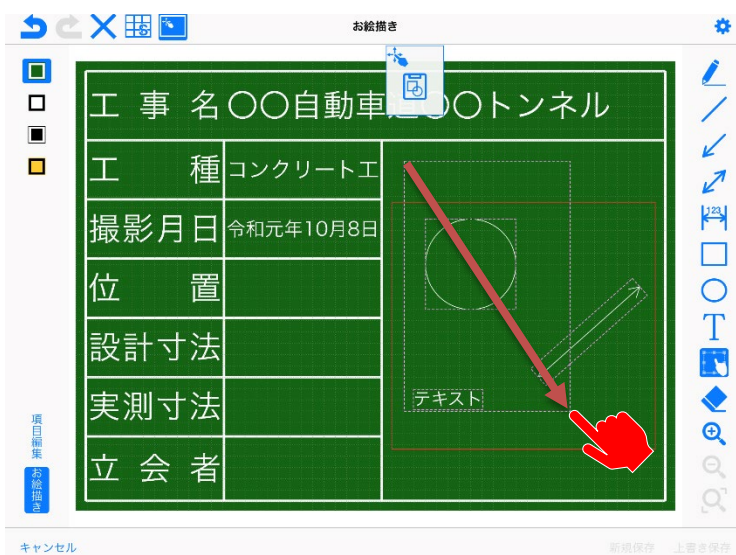
対象	描画時	図形選択時
 自由線  直線  単方向矢印  双方向矢印  寸法線 (描画時のみ)		
 矩形  円形		
テキスト 		
<u>複数選択した時</u> <u>グループ化した時</u>		

No.	アイコン	名称	説明
①		色選択	線の色(テキストの場合はフォントカラー)を変更します。
②		線の太さ選択	線の太さを変更します。
③		線の種類選択	線の種類を変更します。
④		消去	選択している図形を消去します。
⑤		クリップボード	図形の切り取り、コピー、貼り付けをします。
⑥		塗り潰し切替	タップすると線と同じ色で図形を塗り潰します。再度タップすると塗り潰し状態が取り消されます。
⑦		5度回転スナップ切替	有効時に図形を回転させると、図形の角度が5度間隔で回転します。
⑧		テキスト編集	テキスト内容を編集します。
⑨		テキスト回転	タップすると選択したテキストを90度ずつ回転します。
⑩		フォントサイズ変更	<p>選択しているテキストオブジェクトのフォントサイズを「20~200」の範囲で変更します。</p> <p>デフォルト値は「50」です。</p>
⑪		グループメニュー	図形のグループ化及びグループ化の解除をします。

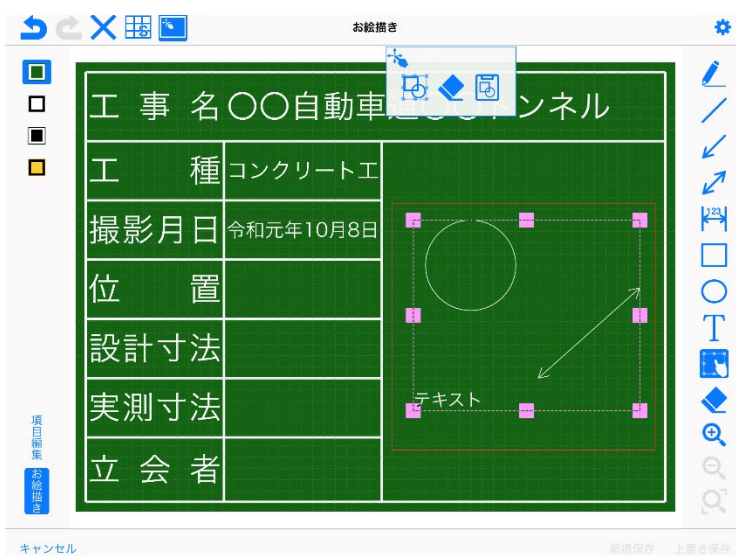
5.4.2.図形を複数選択する



ドラッグすると図形を複数選択することができます。

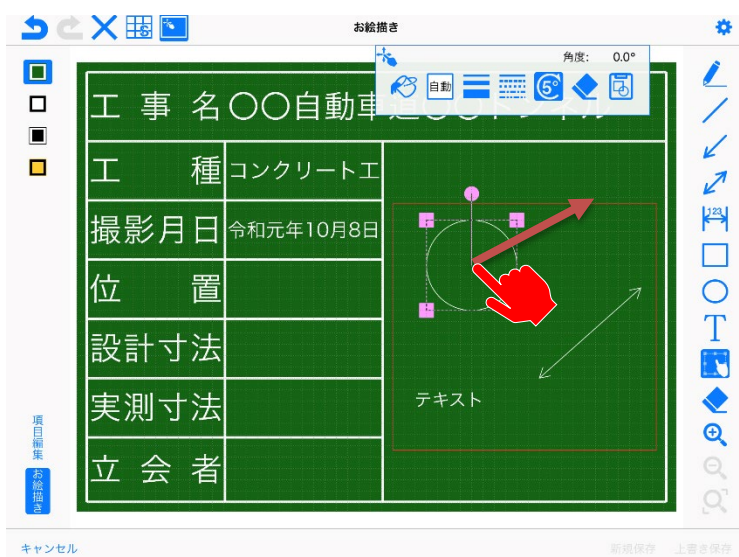


ドラッグ時に表示される矩形に入った図形が点線で囲まれます。

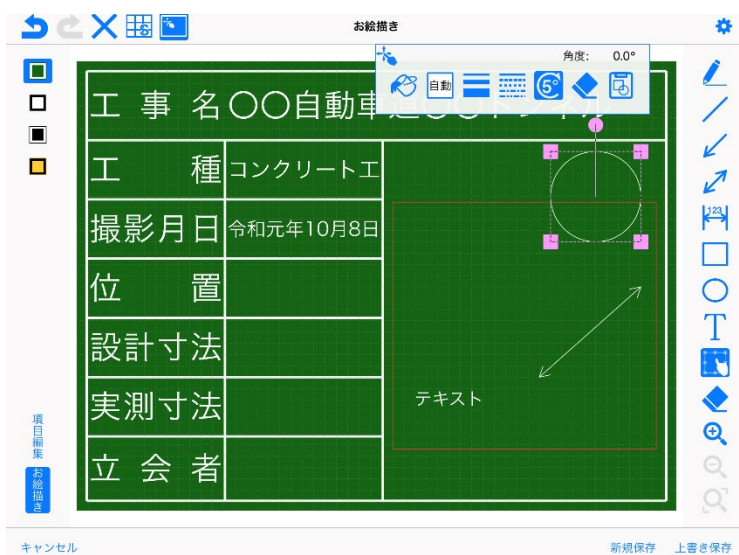


指を離すと図形が複数選択状態になります。

5.4.3.図形を移動する

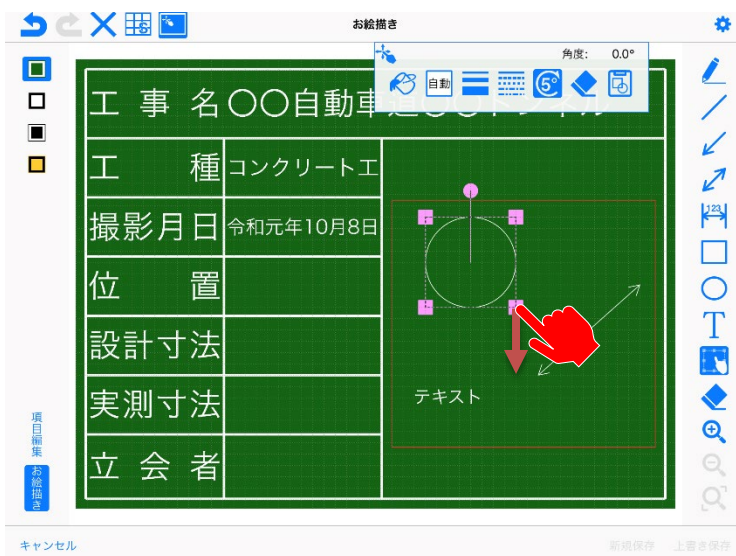


選択した図形をドラッグします。



図形が移動します。

5.4.4.図形を変形する



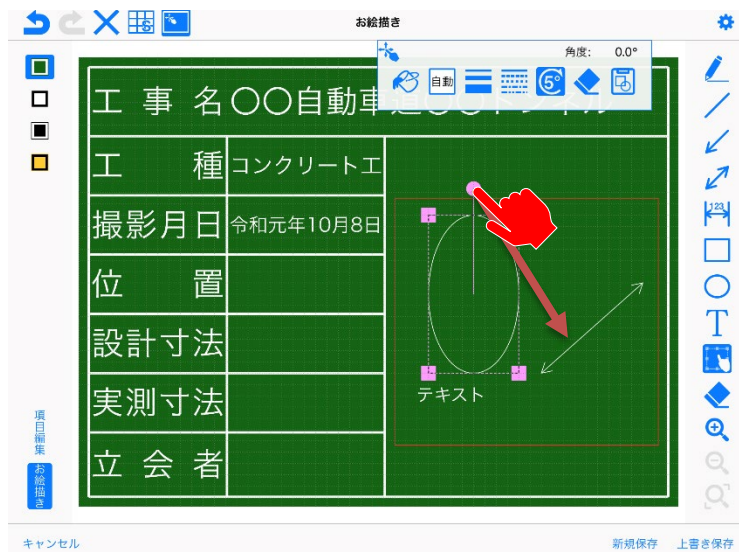
選択した図形の四隅に表示される**四角形のハンドル**をドラッグします。



図形が変形します。

5.4.5.図形を回転する

矩形と円形のみ、図形を回転させることができます。

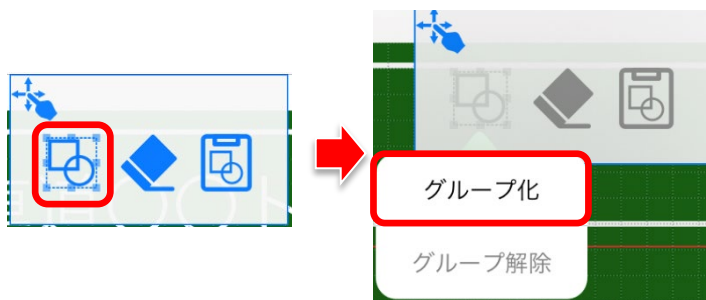



選択した図形の上部に表示される**円形のハンドル**をドラッグします。

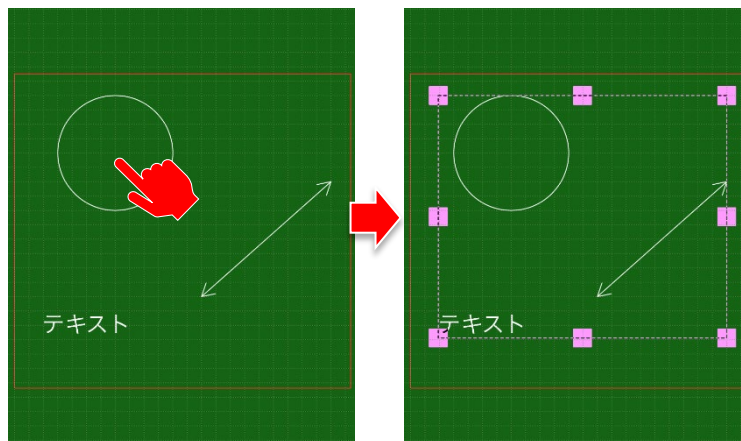


図形が回転します。

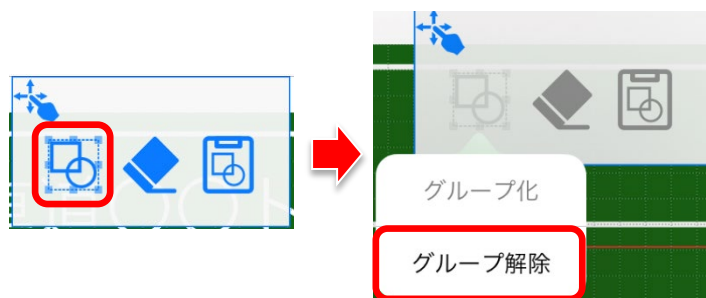
5.4.6.図形のグループ化・グループ解除




複数選択し、サブメニューの  をタップして「グループ化」を選択するとグループ化されます。




グループ化した図形のどれかをタップするとグループ全体が選択されます。

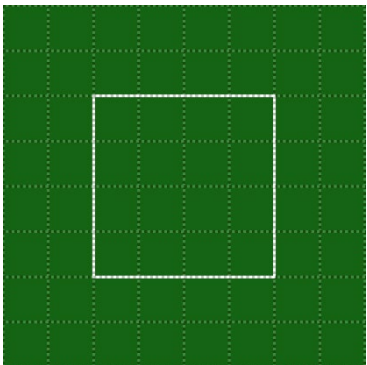
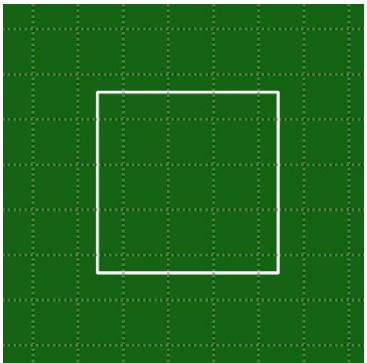
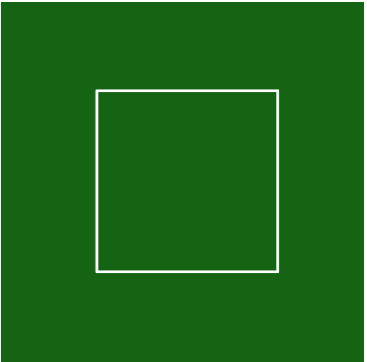


グループ化した図形を選択し、 をタップして「グループ解除」を選択するとグループが解除されます。

5.5. グリッド・スナップ設定

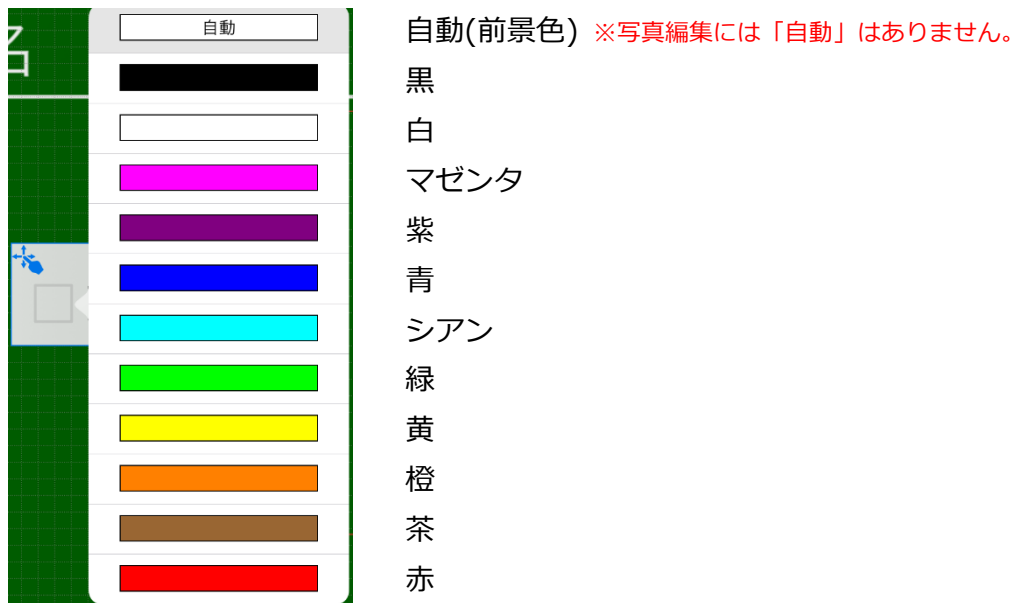
 をタップしてグリッドの表示・非表示、スナップの有効・無効の設定をします。



①		背景にグリッド線が表示されます。 自由線以外の図形はグリッド線に合わせて配置されます。
②		背景にグリッド線が表示されます。 図形は自由に配置できます。
③		背景にグリッド線は表示されません。 図形は自由に配置できます。

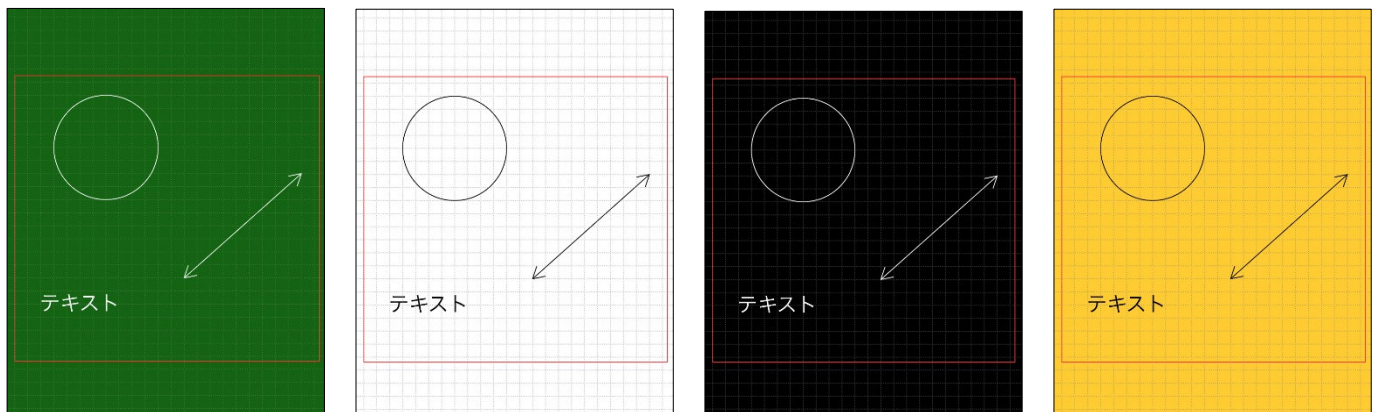
5.6. 色を選択する

自動 をタップして線の色(テキストの場合はフォントカラー)を変更します。




「自動」を選択した場合は、各黒板に設定されている前景色と同じ色になります。

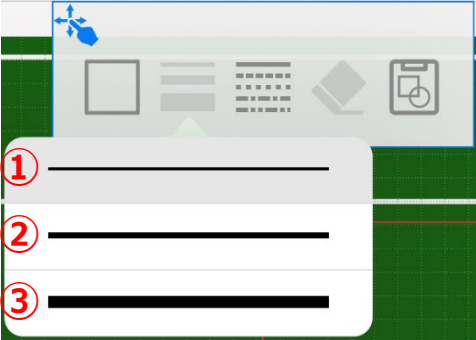
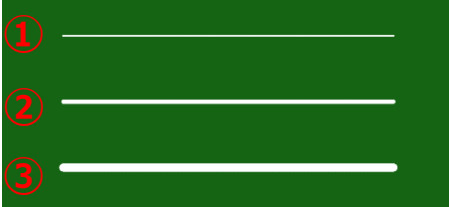
※各黒板に設定されている前景色は、本アプリでは変更できません。




5.7. 線の太さを選択する

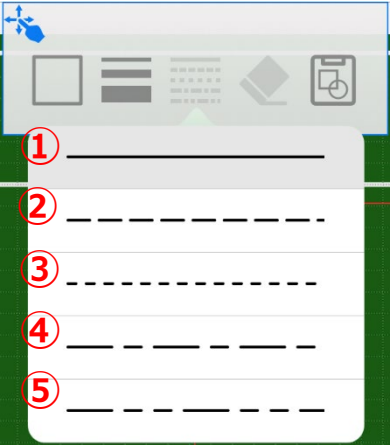
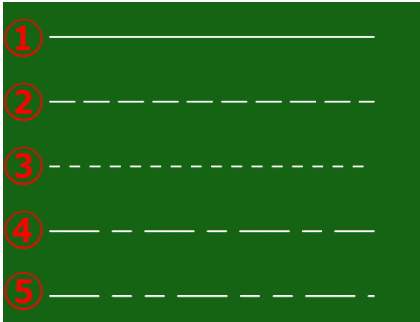
 をタップして線の太さを変更します。

線の太さは、一番細いものを基準として上から順に「1:2:4」の比率になっています。

メニュー	描画イメージ
	

5.8. 線の種類を選択する

 をタップして線の種類を変更します。


メニュー	名称		描画イメージ
	①	実線	
	②	破線	
	③	点線	
	④	一点鎖線	
	⑤	二点鎖線	

5.9. 図形の切り取り、コピー、貼り付け

サブメニューのクリップボードボタン  から以下の操作を行うことができます。

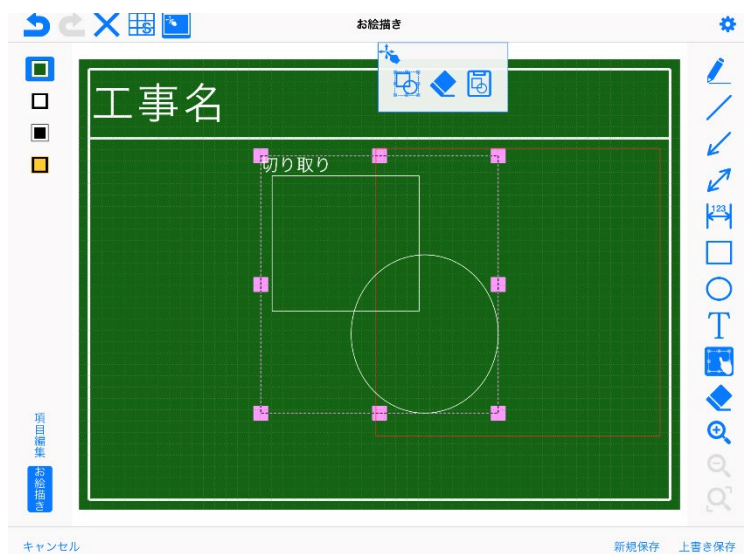
5.9.1. 図形の切り取り、貼り付け



図形を選択し、サブメニューの  をタップして「切り取り」を選択します。




サブメニューの  をタップして「貼り付け」を選択します。



切り取りした図形が画面の中央に表示されます。

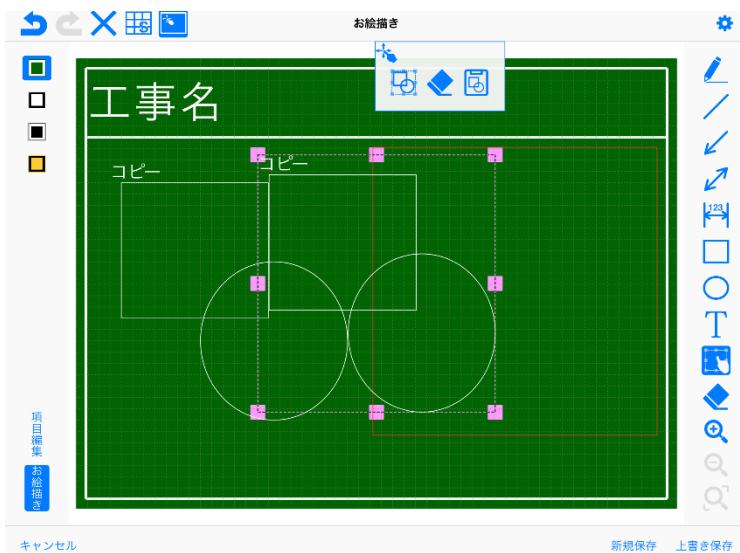
5.9.2.図形のコピー、貼り付け



図形を選択し、サブメニューの  をタップして「コピー」を選択します。



サブメニューの  をタップして「貼り付け」を選択します。

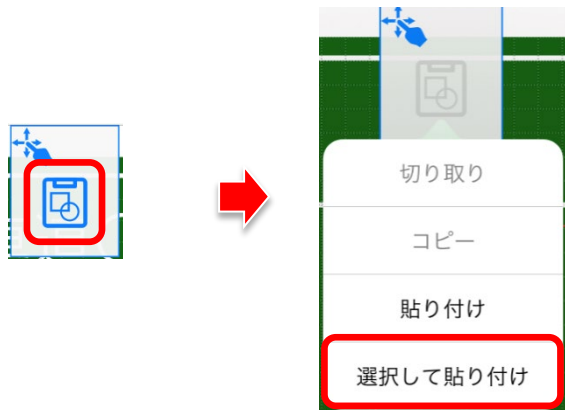


コピーした図形が画面の中央に表示されます。

5.9.3.選択して貼り付け

切り取り、コピーした履歴の中から選択して貼り付けることができます。

コピー履歴は最大 24 件まで保存され、24 件を超えた場合は古い方から順に削除されます。



サブメニューの  をタップして「選択して貼り付け」を選択します。



コピー履歴一覧の中から貼り付ける図形をタップします。



選択した図形が画面の中央に表示されます。

5.9.3.1. コピー履歴の削除



コピー履歴一覧画面の「編集」をタップします。

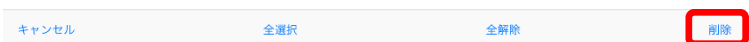


選択モードになりますので、削除したい履歴をタップします。

すべての履歴を一括で削除したい場合は「全選択」ボタンをタップします。

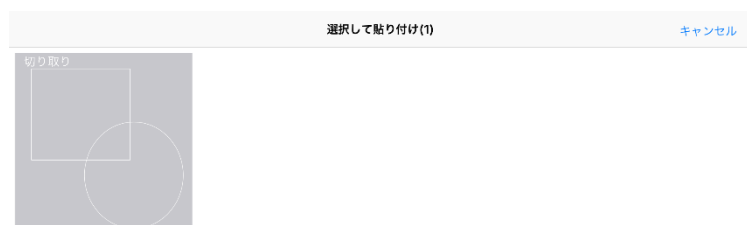


削除したい履歴を選択したら「削除」ボタンをタップします。



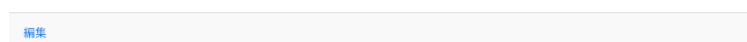


確認メッセージが表示されたら「削除」をタップします。



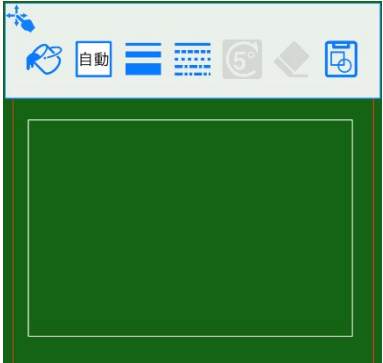
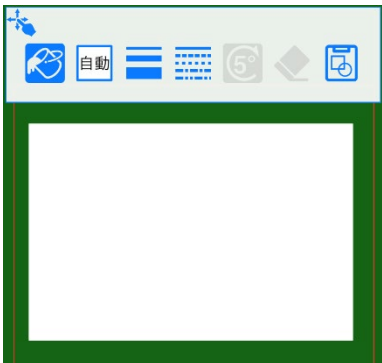

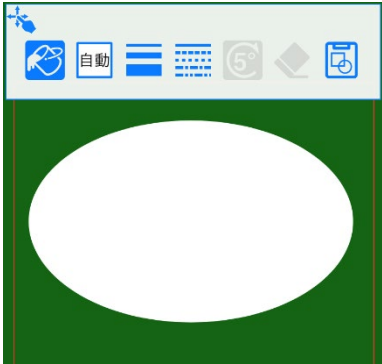
対象の履歴が削除されます。

全ての履歴を削除した場合は自動的に画面が閉じられます。



5.10.図形を塗り潰す

 をタップして有効にすると、線と同じ色で図形を塗り潰します。

図形	塗り潰し無効	塗り潰し有効
矩形		
円形		

5.11.テキストを編集する

配置済みのテキストを編集します。空白のみ入力、または空の場合は「キャンセル」とみなします。入力内容の前後の空白は除外されます。



テキスト編集ボタン  をタップします。



テキスト編集ダイアログが表示されるので、内容を入力します。



「完了」ボタンをタップしてテキスト編集ダイアログを閉じます。



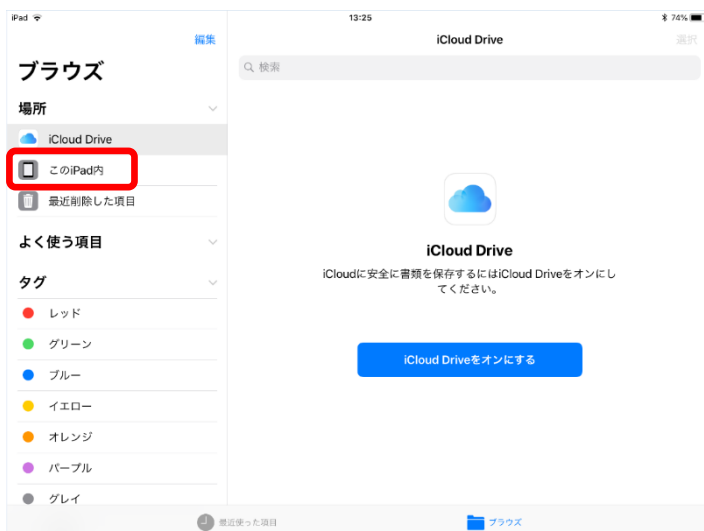
入力した内容が反映されます。

6. ファイル App からのアクセスについて

ファイル App から本アプリへのアクセスが可能です。ここではファイル App を起動してから本アプリへアクセスするまでの操作方法を記載します。

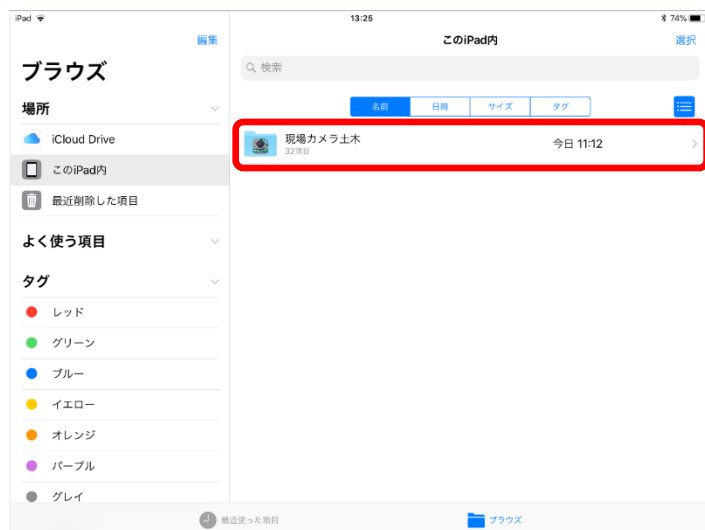


ファイル App をタップします。

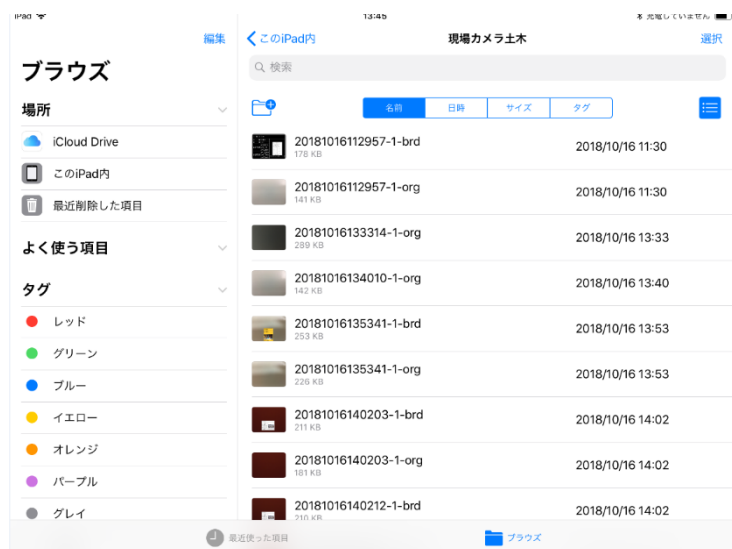


ファイル App が起動します。

「この iPad 内」をタップします。



本アプリをタップします。



本アプリで撮影した写真の一覧が表示されます。


ファイル App を起動してから本アプリへアクセスするまでの操作方法は以上です。

ファイル App の詳しい使い方については Apple サポートでご確認ください。

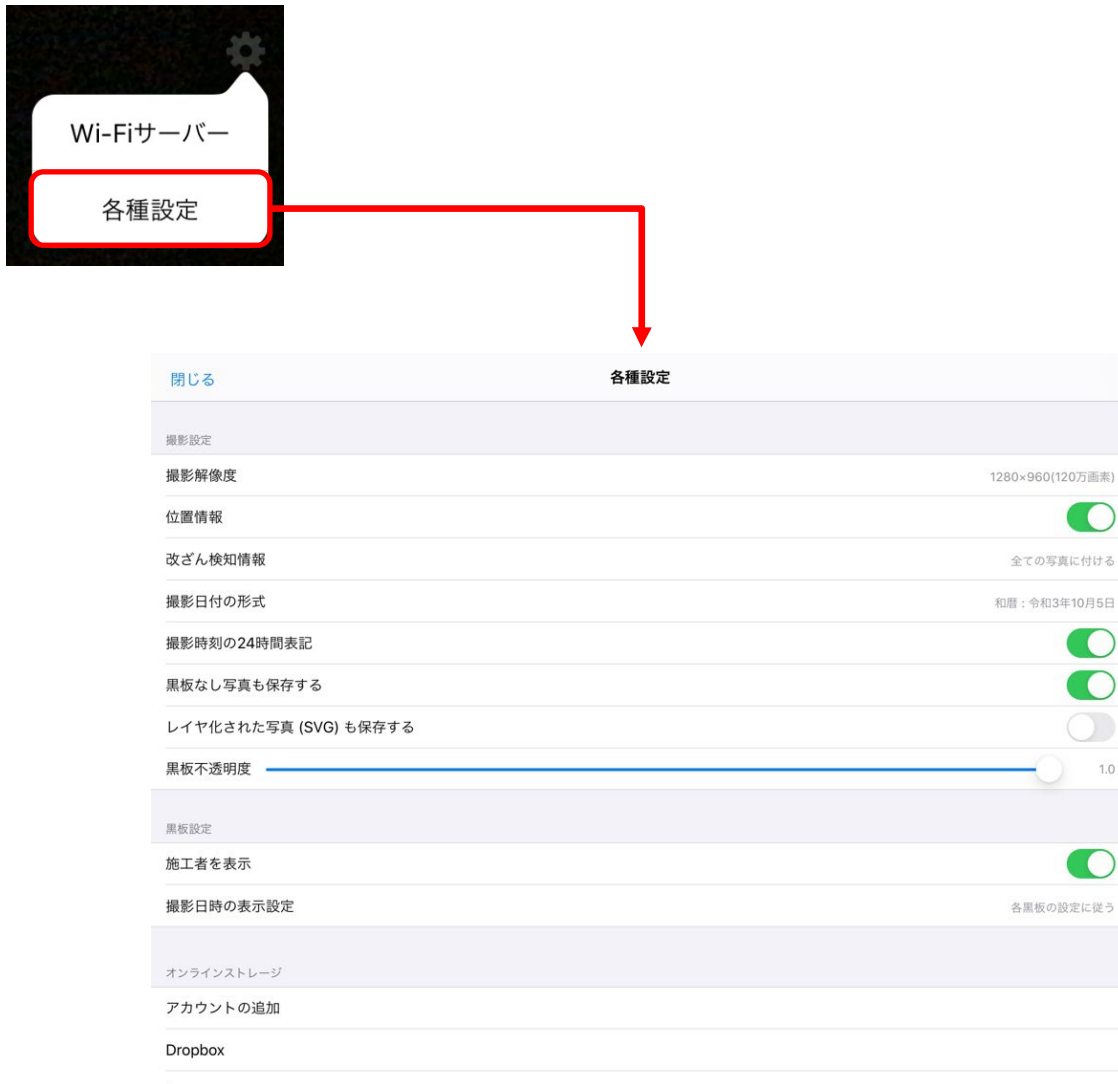
<https://support.apple.com/ja-jp/HT206481>

※URL は予告無く変更されアクセスできなくなる可能性があります。ご了承ください。

7. 各種設定について

画面右上部にある「設定」ボタン  は常時表示され、その都度、必要に応じて操作することができます。

「各種設定」画面へ遷移するには、「設定」ボタンをタップして「各種設定」ボタンをタップします。



7.1. 撮影設定

7.1.1. 撮影解像度

「撮影解像度」は必要に応じて変更することができます。既定値は1280×960(120万画素)です。



7.1.2. 位置情報

「位置情報」を ON にすると、撮影した写真の Exif 情報に緯度／経度／撮影方向などを保存します。必要に応じて ON／OFF の切り替えが可能です。既定値は ON です。



7.1.3.改ざん検知情報

「改ざん検知情報」で「全ての写真に付ける」を設定すると、Exif 情報に「写真が改ざんされていないことを担保する情報」を保存します。電子納品時の提出対象の写真には必要な情報設定であるため、本アプリでは「全ての写真に付ける」が既定値となります。改ざん検知情報の設定については発注者様との協議のうえ、必要に応じて設定することを推奨します。



The screenshot shows the '各種設定' (Various Settings) screen. The '改ざん検知情報' (Tampering Detection Information) setting is highlighted with a red dashed box and is set to '全ての写真に付ける' (Attach to all photos). A red rounded rectangle highlights the '全ての写真に付ける' option in the dropdown menu, which also shows '付けない' (Do not attach) and 'スナップ写真には付けない' (Do not attach to snapshot photos).

設定項目	設定内容	状態
撮影設定	付けない	
撮影解像度	スナップ写真には付けない	1280×960(120万画素)
位置情報	全ての写真に付ける	✓
改ざん検知情報	全ての写真に付ける	
撮影日付の形式	和暦 : 令和3年10月5日	
撮影時刻の24時間表記		ON
黒板なし写真も保存する		ON
レイヤ化された写真 (SVG) も保存する		OFF

7.1.4.撮影日付の形式

黒板に表示する撮影日付の形式を必要に応じて変更できます。既定値は「和暦表示（曜日なし）」です。



The screenshot shows the '各種設定' (Various Settings) screen. The '撮影日付の形式' (Date format) setting is highlighted with a red dashed box and is set to '和暦 : 令和3年10月5日' (Japanese calendar: Reiwa 3, October 5, 2021). A red rounded rectangle highlights the '和暦 : 令和3年10月5日' option in the dropdown menu, which also shows '西暦 : 2021年10月5日' (Gregorian calendar: 2021, October 5, 2021), '西暦(曜日) : 2021年10月5日(火)' (Gregorian calendar (day of week): 2021, October 5, 2021 (Tue)), and '和暦(曜日) : 令和3年10月5日(火)' (Japanese calendar (day of week): Reiwa 3, October 5, 2021 (Tue)).

設定項目	設定内容	状態
撮影設定	西暦 : 2021年10月5日	
撮影解像度	西暦(曜日) : 2021年10月5日(火)	1280×960(120万画素)
位置情報	和暦 : 令和3年10月5日	✓
改ざん検知情報	和暦(曜日) : 令和3年10月5日(火)	
撮影日付の形式	和暦 : 令和3年10月5日	
撮影時刻の24時間表記		ON
黒板なし写真も保存する		ON
レイヤ化された写真 (SVG) も保存する		OFF

7.1.5. 撮影時刻の 24 時間表記

黒板に表示する撮影時刻の表記を必要に応じて変更できます。撮影時刻の 24 時間表記を OFF にすると、“午前 1:30”、“午後 1:30”などで表記されます。既定値は ON です。

閉じる	各種設定
撮影設定	
撮影解像度	1280×960(120万画素)
位置情報	<input checked="" type="checkbox"/>
改ざん検知情報	全ての写真に付ける
撮影日付の形式	和暦：令和3年10月5日
撮影時刻の24時間表記	<input checked="" type="checkbox"/>
黒板なし写真も保存する	<input checked="" type="checkbox"/>
レイヤ化された写真 (SVG) も保存する	<input type="checkbox"/>

7.1.6. 黒板なしの写真を同時保存する

黒板表示ありで写真撮影し、撮影した写真を保存した場合に、同時に黒板表示なしの写真を保存することができます。既定値は ON（黒板なし写真も保存する）です。

黒板なしの写真を保存する必要がない場合は、OFF に変更してください。

閉じる	各種設定
撮影設定	
撮影解像度	1280×960(120万画素)
位置情報	<input checked="" type="checkbox"/>
改ざん検知情報	全ての写真に付ける
撮影日付の形式	和暦：令和3年10月5日
撮影時刻の24時間表記	<input checked="" type="checkbox"/>
黒板なし写真も保存する	<input checked="" type="checkbox"/>
レイヤ化された写真 (SVG) も保存する	<input type="checkbox"/>

7.1.7.レイヤ化された写真を同時保存する

撮影した写真を保存する際に、通常の写真(JPEG)とは別にレイヤ化された写真(SVG)を保存することができます。既定値は OFF です。

※本機能は試験的に導入されているものです。レイヤ化された写真の使用については発注者と協議のうえ、必要に応じて設定することを推奨します。

閉じる	各種設定
撮影設定	
撮影解像度	1280×960(120万画素)
位置情報	<input checked="" type="checkbox"/>
改ざん検知情報	全ての写真に付ける
撮影日付の形式	和暦：令和3年10月5日
撮影時刻の24時間表記	<input checked="" type="checkbox"/>
黒板なし写真も保存する	<input checked="" type="checkbox"/>
レイヤ化された写真 (SVG) も保存する	<input type="checkbox"/>

7.1.8.黒板不透明度

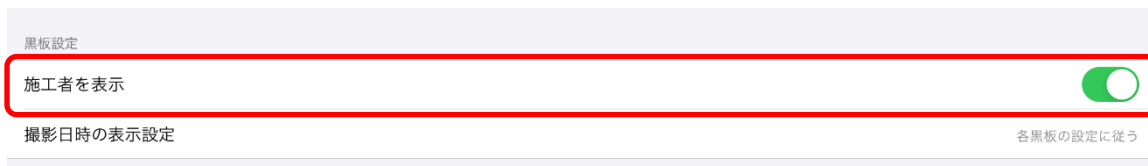
黒板の不透明度を変更します。

閉じる	各種設定
撮影設定	
撮影解像度	1280×960(120万画素)
位置情報	<input checked="" type="checkbox"/>
改ざん検知情報	全ての写真に付ける
撮影日付の形式	和暦：令和3年10月5日
撮影時刻の24時間表記	<input checked="" type="checkbox"/>
黒板なし写真も保存する	<input checked="" type="checkbox"/>
レイヤ化された写真 (SVG) も保存する	<input type="checkbox"/>
黒板不透明度	<input type="range" value="1.0"/>

7.2. 黒板設定

7.2.1. 施工者を表示

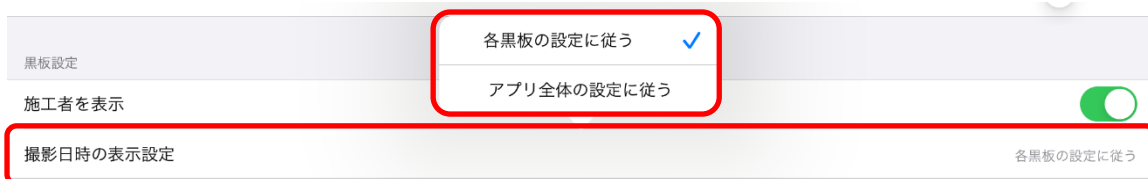
「施工者を表示」を ON にすると、全ての黒板上に施工者を表示します。既定値は ON です。



7.2.2. 撮影日時を表示設定

黒板上に撮影日付、撮影時刻を表示するかどうかの判断を、各黒板に紐づいた設定で行うかアプリ全体の設定で行うかを選択します。既定値は「各黒板の設定に従う」です。

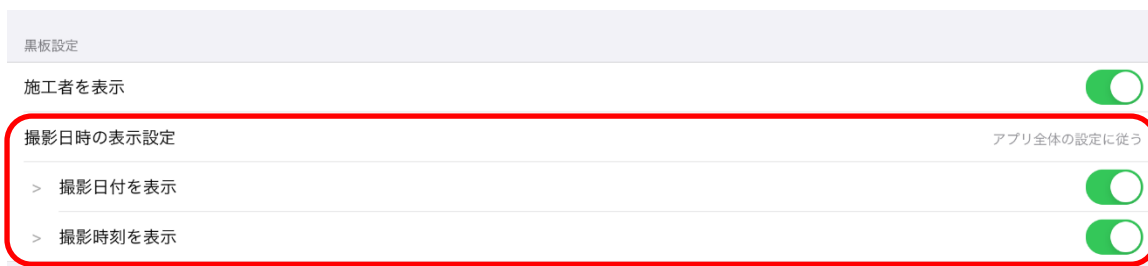
詳しくは「[2.6.6. 撮影日時を表示設定](#)」を参照してください。



「アプリ全体の設定に従う」を選択した場合、撮影日付と撮影時刻の表示設定項目が表示されます。

「撮影日付を表示」を ON にすると、全ての黒板上に撮影日付を表示します。既定値は ON です。

「撮影時刻を表示」を ON にすると、全ての黒板上に撮影時刻を表示します。既定値は ON です。



7.3. オンラインストレージ

オンラインストレージ連携する場合に URL、ID、パスワードを設定します。

本アプリで対応しているオンラインストレージは Dropbox、Box、WebDAV、RICOH Drive の4種類です。

Box ストレージを設定例としてご紹介いたします。



「アカウントの追加」をタップします。



アカウントの追加メニューが表示されますので、使用したいオンラインストレージをタップします。

※本手順では「Box」をタップします。

オンラインストレージのログイン画面が表示されたらログイン情報を入力し処理を続行します。

アカウント追加時にアクセスの許可確認画面が表示される場合がありますので「許可」ボタンをタップして処理を続行します。

タイトルを入力します。



オンラインストレージ上の各連携フォルダ（黒板データ用、写真データ用）を設定します。

ここでは黒板データ連携用フォルダの設定を例とします。「黒板フォルダ」をタップします。

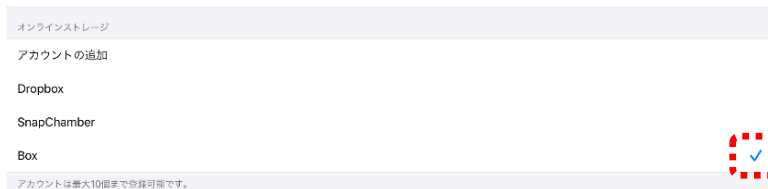


オンラインストレージ上の各連携フォルダが表示されますので、任意のフォルダの「選択」ボタンをタップします。

黒板データ連携用フォルダが設定されます。

写真データ連携用フォルダも同様の手順で設定します。

以上でオンラインストレージの設定は終了です。



なお、本アプリでは複数のオンラインストレージのアカウント設定が可能です。

使用しているアカウントにチェックが付きます。

8. トラブルシューティング

サポート用の機能の説明と、よくあるご質問についてご説明いたします。

8.1. Wi-Fi サーバーが起動できない

Wi-Fi サーバーの起動ボタンが灰色になってしまい、タップできない状態のときの解決方法につきましてご説明いたします。

8.1.1. メッセージの確認

お使いの環境で問題が発生している場合、画面上部に解決のヒントとなるメッセージ（※）が表示されることがございます。

※特殊なケースが発生した場合はシステム内部のメッセージを表示する仕様のため、英語のメッセージが表示される場合がございます。その場合はお手数をおかけいたしますが、弊社サポート窓口(kensetsu-support@datt.co.jp)までご連絡ください。

閉じる

Wi-Fiサーバー

Wi-Fiに接続されていません。
ネットワーク設定を確認し、再度サーバーの起動を行ってください。

IPアドレス -

ポート番号 8080

ネットワーク環境調査用の情報を出力する

サーバーの起動

8.1.2. ネットワーク環境調査用の情報を出力

弊社サポート窓口から「ネットワーク環境調査用の情報」を出力していただくようお願いすることがあります。ここでは、その手順について説明いたします。

注意：この機能によって出力可能な情報には、ご利用の端末から検出されるすべてのネットワークの情報が含まれています。トラブル防止の観点から、**弊社サポート窓口から指示があった場合のみ**本機能を使用し、これによって出力されたファイルを他人に共有するようなことはお控えください。

8.1.2.1. ネットワーク環境調査用の情報出力

閉じる Wi-Fiサーバー

Wi-Fiに接続されていません。
ネットワーク設定を確認し、再度サーバーの起動を行ってください。

IPアドレス -

ポート番号 8080

ネットワーク環境調査用の情報を出力する

サーバーの起動

ネットワークに問題があった場合のみ表示される「ネットワーク環境調査用の情報を出力する」ボタンをタップします。

ネットワーク環境調査用の情報を出力します。

注意：端末自体の情報と周辺のネットワーク環境の情報を出力しようとしています。

ダットジャパン株式会社のサポートデスクから指示があった場合のみ出力を行ってください。

キャンセル 実行

確認メッセージが表示されますので、「実行」をタップします。

ネットワーク環境調査用の情報を出力する

report_wi-fi_20211104-135952
テキスト書類・3 KB

AirDrop メッセージ メール リマインダー

コピー

"ファイル"に保存

アクションを編集...

ネットワーク環境調査用の情報を他のアプリへ共有するメニューが表示されます。

次に、このメニューから出力した情報をPCに移動する方法についてご説明します。

8.1.2.2. 「メール」アプリを用いたネットワーク環境調査用の情報の送信

「メール」アプリを使用し、iOS 端末から直接お問い合わせを送信する方法についてご説明します。



共有メニュー上部から「メール」アプリを探してタップします。

※環境によりアプリの数や並び順が異なる場合があります。



メールの送信画面が開かれます。

ファイルが添付されていることを確認し、お名前、会社名を添えて弊社サポート窓口

kensetsu-support@datt.co.jp

までご連絡ください。

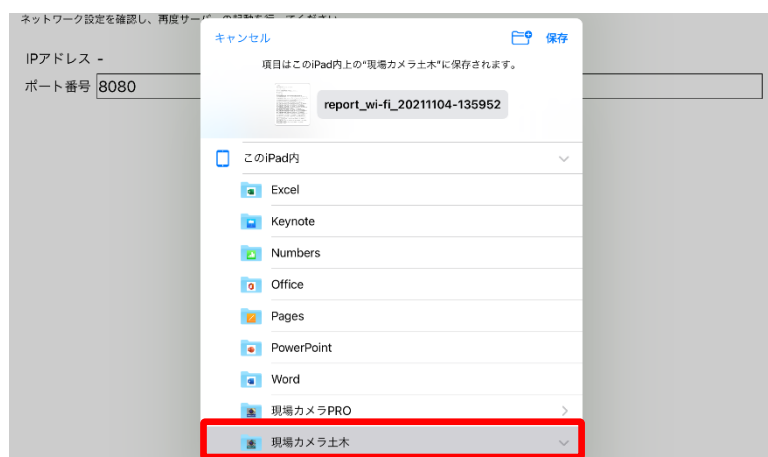
8.1.2.3. ネットワーク環境調査用の情報を iTunes から PC に取り込み、PC から送信

iOS 端末から直接メールを送信できない場合、ネットワーク環境調査用の情報を PC に取り込む方法をご説明します。



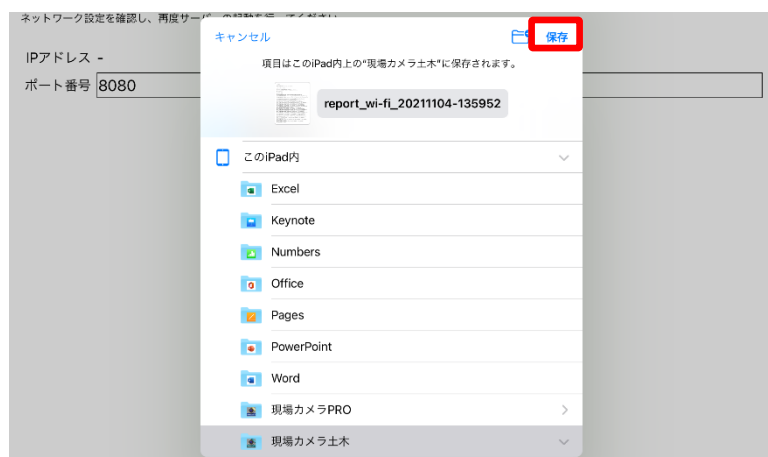
共有メニュー下部から「“ファイル”に保存」メニューを探してタップします。

※環境により項目の数や並び順が異なる場合があります。

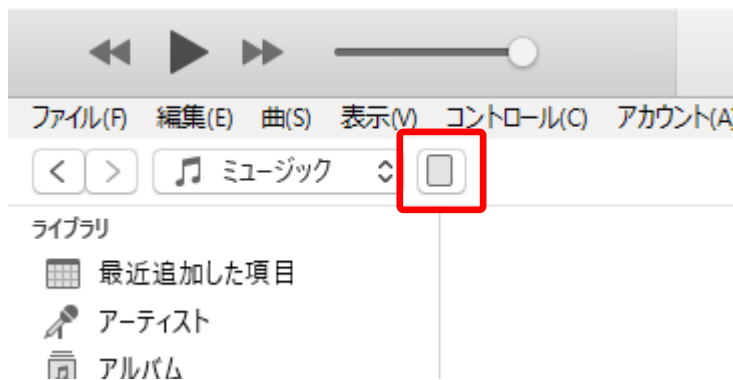


保存先を選択する画面が開かれます。

「この iPhone 内」または「この iPad 内」にある「現場カメラ土木」をタップし、選択状態（灰色の状態）に変更します。



右上の「保存」ボタンをタップすると、ネットワーク環境調査用の情報がアプリ内に保存されます。



お使いの端末を PC に接続し、iTunes を起動します。

お使いの端末が PC に認識されると端末のマークが描かれたボタンが表示されるため、こちらをクリックします。

※端末の種類により、ボタンに描かれたイラストが異なる場合がございます。



PC に接続した端末の情報が表示されるため、

ファイル共有 → 現場カメラ土木

の順に選択します。

本アプリ内に保存されたファイルの一覧から、先ほど保存したファイルを探し、デスクトップにドラッグ&ドロップするなどの方法で PC に転送します。

この方法で取り出したファイルをご利用の PC でメールに添付し、お名前、会社名を添えて弊社サポート窓口

kensetsu-support@datt.co.jp

までご連絡ください。

現場 DE カメラ 土木版 取扱説明書

発行 2017 年 11 月 2023 年 1 月改訂

発行者 ダットジャパン株式会社

※本書の一部または全部の無断転載は紙・Web 等の媒体を問わず一切を堅くお断りします。